

平成26年度
(平成25年度実施事務事業)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書



(平成25年度に完成した五和小学校・五和中学校)

平成26年8月

天草市教育委員会

はじめに

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成25年度に実施した教育委員会の事務事業について点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 点検及び評価に関する要領	1P
1 趣 旨	
2 点検評価の対象範囲	
3 点検評価の方法	
4 点検評価員の委嘱	
5 点検評価の手順	
6 点検評価調書の作成	
II 教育委員会の活動状況について	4P
1 教育委員会会議	
2 教育委員の主な活動	
3 附属機関の状況	
4 教育委員会の情報発信	
III 点検評価の結果	7P
① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成	
② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成	
③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成	
④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進	
IV 外部点検評価	17P
1 点検評価員	
2 会 議	
3 点検評価員の主な意見	
○ 教育目標、基本方針、努力目標、事務事業	23P
○ 点検評価調書	25P

I 点検及び評価に関する要領

1 趣旨

この報告書は、天草市教育委員会の権限に属する事務の平成25年度の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第27条第1項の規定に基づき、点検及び評価を行う。

2 点検評価の対象範囲

点検評価の対象は、地教行法第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、「第1次天草市総合計画」や「天草市教育目標」を達成するための「基本方針」「努力目標」及び「事務事業」とする。

3 点検評価の方法

(1) 内部評価

○「基本方針」、「努力目標」については、事務事業の評価結果や教育環境の変化等から今後の「方向性」を判断する。

○「事務事業」については、その「必要性」、「有効性」等の観点から評価を行い、今後の「方向性」を判断する。

(2) 外部評価

学識経験を有する方から、「基本方針」、「努力目標」及び「事務事業」について意見を聴取する。

4 点検評価員の委嘱

(1)点検評価員の法的根拠 地教行法第27条第2項

(2)点検評価員の数 2人

(3)資格 教育に関し学識経験を有する方で、性別・年齢は問わない。

(4)任期 2年(再任を妨げない)

(5)報酬等 報酬・費用弁償については、天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

5 点検評価の手順

点検評価は、次の順により行う。

①内部評価

事務局各課がその所管する事務事業等について、評価を行う。

②外部評価

上記①の内部評価の結果をもとに、点検評価員の意見を聴取する。

③最終評価

上記①及び②の外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

④議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

⑤公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を教育委員会ホームページに掲載し市民に公表する。

6 点検評価調書の作成

(1)「事業名」欄

平成25年度に実施した事務事業名を記載する。

(2)「第1次総合計画施策体系区分」欄

事務事業の上位施策となる第1次総合計画前期基本計画における施策を記載する。

(3)「教育目標」欄及び「基本方針」欄

「天草市教育目標」及びそれを達成するための「基本方針」を記載する。

(4)「目的」欄

事務事業を実施する目的を記載する。

(5)「内容」欄

事務事業の内容を記載する。

(6)「全体計画、概要」欄

平成25年度の「決算額」、評価の「指標名」及びその指標の「目標値」・「実績値」を記載する。

(7)「評価」欄

① 評価項目

評価は、次の項目について行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

市が各種の施策を推進する上で基本となる「第1次総合計画」や、教育行政の柱である「教育目標」等の上位計画の達成にどの程度貢献できたか、という観点から評価を行う。

○「市関与の必要性」欄

市が関与する必要性はどの程度か、という観点から評価を行う。

○「達成状況」欄

計画した内容や目標がどの程度達成されたか、という観点から評価を行う。なお、目標値を設定することが困難な事業については、事業(サービス)の充実度に応じた評価を行う。

② 評点

評価は、次の評点により行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

4:大いに貢献できた 3:貢献できた 2:少し貢献できなかった 1:ほとんど貢献できなかった

○「市関与の必要性」欄

4:関与の必要性が高い 3:関与の必要性がやや高い 2:関与の必要性はやや

低い 1:関与の必要性は低い

○「達成状況」欄

4:達成できた 3:だいたい達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

(8) 総合評価

上記(7)の評価を踏まえ、総合的な評価を行い、今後の課題等を記載する。

(9) 方向性

上記(8)の総合評価を踏まえ、事務事業の今後の取組みの方向性について、次により記載する。

- 廃止:平成26年度で事務事業を廃止する
- 終了:設定した終期の到来又は事業目的の達成により事務事業を廃止する
- 縮小:事業内容、事業量等を縮小して事務事業を継続する
- 見直して継続:他の事務事業との統合や内容を見直して継続する、又は新たに終期を設定して継続する
- 継続:現行の内容で事務事業を継続する
- 拡充:事業内容、事業量等を現行よりも拡充して事務事業を継続する

II 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議

(1) 教育委員

平成25年度の教育委員は、次のとおりです。

役職名	氏名	摘要	任期満了年月日
委員長	花里 昌直	平成25年7月1日委員長選任	平成27年6月30日
委員長職務代理者	金子 晴久	平成25年7月1日委員長職務代理者指定	平成26年6月30日
委員	黒鶴 進治	平成25年7月1日再任	平成29年6月30日
委員	松本 由香里	平成24年10月1日新任	平成28年6月30日
委員	行合 八恵子	平成25年1月1日新任	平成28年6月30日
教育長	岡部 紀夫	平成22年7月1日就任	平成26年6月30日

(2) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び天草市教育委員会会議規則に基づき、6人の教育委員が教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針、委員会規則の制定等、教育に関する様々な議題について審議します。

この会議は、毎月1回開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会があり、平成25年度においては、定例会を12回、臨時会を2回開催し、議案64件、協議報告50件について審議しました。

なお、会議は、人事等の案件を除き公開しています。

2 教育委員の主な活動

教育委員の主な活動は、次のとおりです。

(1) 学校訪問

教育委員会は、年間を通して市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取り組みや抱えている課題の把握に努めています。この際、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

学校訪問の状況

区分	対象	期日	教育委員の出席状況
幼稚園訪問	4幼稚園	平成26年 1月24日～平成26年 1月27日	延べ 8人
小学校訪問	29小学校	平成25年 6月 5日～平成26年 2月 5日	延べ64人
中学校訪問	13中学校	平成25年 6月24日～平成26年 2月10日	延べ18人

(2) 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。平成25年8月22日～23日に、第10回九州地区市町村教育委員研修大会に4名の教育委員が出席し、平成26年1月29日には、熊本県市町村教育委員研修大会に6名の教育委員が出席しました。また、1月28日～29日には、図書館に関する先進地研修を実施しました。

(3) その他の主な会議や行事

会議・行事名等	期 日	教育委員の出席状況
服務宣誓式	平成25年 4月 4日	5人
入学式・入園式	平成25年 4月 9日・10日	延べ13人
社会を明るくする運動推進委員会	平成25年 6月25日	2人
成人式(10地区)	平成25年 8月、26年 1月	延べ13人
研究発表会(小中学校研究指定校6回)	平成25年10月～平成26年 1月	延べ26人
教育力活性化推進大会	平成25年11月30日	3人
新移動図書館車お披露目会	平成25年12月21日	2人
退職者感謝状贈呈式	平成26年 2月26日	5人
子ども読書フェスティバル(講演、発表)	平成26年 3月 8日・9日	3人
卒業式・卒園式	平成26年 3月	延べ13人

3 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議案件
天草市奨学生選考委員会	1回	奨学生の選考
天草市就学指導委員会	2回	心身に障害のある児童生徒の就学指導
天草市立学校給食センター運営委員会(各センターごとに設置)	各2回	給食費の決定、給食日数、納入業者の承認管理運営
天草市社会教育委員会議	4回	社会教育事業の事業計画、運営方針、家庭教育に係る提言
天草市立図書館協議会	3回	事業計画、運営方針、図書館整備基本構想に関する協議
天草市勤労青少年ホーム運営委員会	2回	事業計画、運営方針

4 教育委員会の情報発信

教育委員会では、教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、市民の皆様に様々な情報を提供しています。

平成25年度においては、教育委員会が主催する大会等の行事については、「市政だより天草」で随時掲載し周知に努めました。

また、教育委員会定例会及び臨時会の開催日時、教育の現状及び課題、施策等について、天草市ホームページ上で情報の提供を行っています。

Ⅲ 点検評価の結果

天草市教育振興基本計画の「基本方針」「努力目標」に基づく事務事業について評価を行いました。

なお、努力目標に対応する事務事業の評価の具体的内容については、別添の「点検評価調書」を参照してください。

基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成
取り組みと成果	<p>(1) 道徳教育・人権教育の推進 道徳の授業では、道徳学習指導要領に即した指導が行われているか、また、人権に配慮した授業が展開されているかを授業参観において確認し、直接、授業者に指導している。そのため、人権を尊重した学級経営・授業づくりが行われている。</p> <p>(2) 特別支援教育の推進 市全体の課題である「移行支援」と「特別支援教育コーディネーターの役割」に焦点を当て、事例研究と実践発表を設定し、コーディネーター研修を実施した。そのため、地区内での連携が深まり、参加者の実践への意欲の向上を図ることができた。また、園・学校のニーズに応じることのできる巡回相談員を委嘱できたことで、要望に応じた相談が行われるようになった。そのため、発達障がい等のある児童生徒の支援のあり方や校内支援体制について、園・校内での共通理解と実践が図られるようになった。</p> <p>(3) 環境教育の推進 学校版環境ISOコンクールへ市内全小中学校が参加することにより、各学校の地域性を活かした特色ある活動が展開され、児童生徒の環境保全に対する意識が高まった。</p> <p>(4) 心の教室相談事業 中学校6校の相談室に「心の教室相談員」をそれぞれ1人配置し、不登校気味の生徒の適応指導や問題行動等に関する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行った。</p> <p>(5) 適応指導教室設置事業 教員免許を有する適応指導教室教員2名を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育相談等を実施した。</p> <p>(6) 教育相談体制の充実 子育て全般及び教育全般において、教育相談員によるカウンセリングや助言指導、研修の実施により、特別支援教育推進、不登校やいじめ対策、幼保小中連携推進、幼児教育等の充実を図ることができた。</p> <p>(7) スクールバス運行事業 小中学校の統廃合により、遠距離となった児童・生徒の通学手段として、貸切バス41台(市有バス6台)、貸切スクールボート1隻を運行(航)管理業務委託により運行(航)し、児童・生徒の安心安全な通学環境を維持することができた。</p>
	<p>(1) 五和小中学校建設事業 校舎・体育館の建設工事やグラウンド造成工事を実施した。</p> <p>(2) 小・中学校施設営繕事業 小学校34件・中学校13件の工事を実施した。</p>

	生涯学習課	<p>(1) 家庭教育支援員配置事業 亀川小学校、河浦小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域の実情に応じて、情報紙の発行・配付、相談体制づくりや対応（学校及び家庭）、家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等の学習機会の提供家庭教育支援を行った。</p> <p>(2) 家庭教育学習支援事業 家庭における教育力の再生を図ることを目的として、小学校29校、中学校7校等で基本的生活習慣、食育、健康教育などをテーマとして家庭教育に関する講座が実施され、そのなかで「親の学び」プログラムは、すべての講座で取り入れられた。</p>
評価・課題	学校教育課	<p>(1) 道徳教育・人権教育の推進 自他の生命を尊重する心や規範意識を持った豊かな感性を育てるために、学校の教育活動全体での心の教育の充実が今後も必要である。また、道徳教育や人権教育については、地域・保護者への啓発が必要であるため、連携や啓発の方法について学校に指導していく必要がある。</p> <p>(2) 特別支援教育の推進 「移行支援」の現状を把握し、その必要性と効果を周知し、地区内での連携の強化を図っていけるよう、コーディネーターの資質の向上を図る研修を企画運営する必要がある。また、園・学校のニーズに応じる巡回相談員の専門性について周知するとともに、継続した相談ができるような体制づくりが必要である。</p> <p>(3) 環境教育の推進 小中学校の教育活動を通して、環境問題について、思考・判断力や実践力を培っていくことは、今後ますます重要である。このため、これまでの各学校の取組みに工夫を加え、継続して取組むことにより、児童生徒の環境保全に対する意識を更に高める。また、各学校の取組みを更に充実させるため、学校版環境ISOの活動において具体的な数値目標（例：前年比5%削減など）を設定し、児童生徒が自らの活動の成果を実感できるような取組みを工夫する必要がある。</p> <p>(4) 心の教室相談事業 教師への相談と違って生徒が気軽に相談ができるようになり、生徒及び保護者に安心感やゆとりが生まれ、問題解決への糸口が見出されている。社会環境が変化する中、不登校の生徒が増えており、未配置校においても検討する必要がある。</p> <p>(5) 適応指導教室設置事業 不登校を解消し指定の学校に復帰できることが最終目標であるため、それに向けて指導支援を行う必要がある。</p> <p>(6) 教育相談体制の充実 悩みや不安、問題を抱える保護者や教職員等からのニーズは高い。中でも「ことば」に関する相談が増加傾向にあるが、さらに相談内容に応じて専門の相談員が対応できる相談体制の充実と事業の周知の工夫が必要である。</p> <p>(7) スクールバス運行事業 スクールバスの運行は、学校統廃合に伴うものであり、保護者及び学校との調整が不可欠である。安心安全かつ円滑な運行を実施するためには、学校、保護者、運行管理受託事業者、教育委員会の連携を密にしていくことが重要である。</p>

教育総務課	<p>(1) 五和小中学校建設事業 小中一貫教育(連携)を目指した学校として、平成26年4月開校に向け工期までには完了し、目標を達成できた。</p> <p>(2) 小・中学校施設営繕事業 各学校の規模及び構造、建設年度により、劣化、優先順位に違いがあり、年度内の調整は非常に困難な状態である。その中で、緊急事業及び予定工事については、何とか実施する事が出来た。今後も各学校の状態を把握し、計画的に事業の実施を図りたい。</p>
生涯学習課	<p>(1) 家庭教育支援員配置事業 きめ細かな家庭教育支援を行い、家庭教育力の向上を図ることができた。現在、国・県の補助対象事業として実施しているが、事業を拡充するのであれば、市の単独経費が増加していくことになる。 学校教育課で実施している「心の教室相談事業」、「教育相談事業」と連携できないか検討する。</p> <p>(2) 家庭教育学習支援事業 子育てやしつけ、又は思春期の子どもが抱える悩みや問題等を通じて家庭教育のあり方を見直すとともに、子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会を提供することができた。 今後は、「親の学び」プログラムのさらなる普及と若年層や男性の参加者を増やすための対策として、実施団体に外部講師(著名な講師)の紹介を行う等、バリエーションのある講演会を提案する。</p>

基本方針	<p>② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成</p>
<p>取り組みと成果</p>	<p>学校教育課</p> <p>(1) 学校教育研究委員会 学校教育研究委員会では、よりよい教育実践のための計画書や基礎的な参考資料・問題集等を作成してきた。平成25年度は、学習指導要領の改訂に伴って、市内の小・中学校における活用力を向上させるための問題集を作成し、市内全中学校に配布することができた。また、市内小・中学校の全児童・生徒に対していじめに関するアンケートを実施し、その結果を分析・考察し実態を明らかにするとともに、各校のいじめ防止のための具体的な対策を協議し、課題解決に向けての効果的な取り組みの発信を行った。</p> <p>(2) 外国青年教師招致事業 国際化時代に備えた英語教育と国際理解教育の推進を図るため、外国語指導助手11人を配置した。中学校においては生徒の英語に対する興味、関心が高まり、コミュニケーション能力の育成をより図ることができ、小学校では外国語活動等で活用を図った。また、日常的に外国人と接する中で外国の文化や生活習慣に親しむことができた。</p> <p>(3) 学習指導補助教員の配置 学習指導補助教員は平成25年度末時点で43人を配置し、チームティーチングを実施することで、一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導を行った。また、安全面に配慮した生活指導においても効果が上がっている。</p> <p>(4) 読書活動支援事業 学校での読書活動を推進するため、20人の学校司書を配置した。これにより、読書に対する児童生徒の意欲の向上が図られるとともに、図書室の環境整備・蔵書の充実、学習指導への協力等更なる充実が図られた。</p> <p>(5) 総合的な学習活動支援事業 「総合的な学習の時間」において、自然体験や社会体験など様々な学習が行われており、小学校29校、中学校13校で各々の活動に応じ、社会見学交通費や講師招聘の謝礼等に活用されており、学習内容の充実が図られた。</p> <p>(6) ふるさと体験事業 各学校において、前年度の他校の取り組み等も参考にしながら、より充実した内容の体験活動を実施できた。小学校29校で実施され、文化交流館での作陶体験やシーカヤック体験、ロザリオ館の見学など、体験活動をとおして天草のすばらしさを認識することができた。</p> <p>(7) 学校訪問の充実 小学校29校、中学校13校合計42校すべての学校を訪問指導することにより、現状を把握することができ、課題解決に向けての実践を確認し、必要に応じて、指導助言することができた。また、毎年度、継続的、計画的に行っていることにより、指摘事項の改善や諸計画等の修正も含めて、本市教育水準の向上に資することができた。</p>

	<p>(8) 研究指定校の成果の普及・活用</p> <p>天草市教育の質の向上を図ることをねらいとして、平成25年度は市内小・中学校の中から研究推進校として5校を指定した。研究推進校では、教科等教育、健康教育、ふるさと体験学習の領域ごとに、それぞれの学校で児童の実態に即した指導法の工夫・改善や評価等の実践的研究が推進され、その成果を研究発表会という形で市内の全学校に普及することができた。</p>
教育総務課	<p>(1) 離島高校生修学費支援事業</p> <p>御所浦地区から高等学校等へ進学する際の、交通費(船賃)及び下宿費等106名分を助成した。</p> <p>(2) 姉妹都市教育交流事業</p> <p>エンシニタス市へ生徒6名と引率者1名を派遣した。5日間ホストファミリー宅にそれぞれ滞在し、市内の名所や施設を訪問した。また、この姉妹都市交流プログラムを通して、天草を訪れたことのある方や、研修生として天草を訪れた生徒の家族の方、現地の学生と交流を深めることができた。</p> <p>(3) 学校規模適正化</p> <p>天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、学校統合推進協議会(地区振興会の代表、区長代表、保育所の保護者代表、PTAの代表、校長等で構成)を設置し、統合の時期や校名等について協議した。</p> <p>また、平成26年4月に統合した牛深小学校、二浦小学校、魚貫小学校、天附小学校、御所浦小学校、御所浦北小学校、御領鬼池小学校、城河原小学校、手野小学校、二江小学校については、統合準備委員会(PTA、学校側で構成)を設置し、開校に向けた協議を行った。</p>
生涯学習課	<p>●成人式</p> <p>旧市町10箇所において、“おとな”になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ますため「成人式」を実施した。成人式をきっかけに、社会人としての責任と義務を自覚し、明るい選挙を推進し、交通安全についても再考する機会となり、また、久しぶりに再会する友人や恩師と旧交を温める良い機会にもなっている。</p> <p>各地域の参加率は、概ね80%~90%あり、地域で特色ある成人式ができた。</p>
学校給食課	<p>(1) 地産地消の推進</p> <p>本市の豊かな食材を学校給食に生かしながら、安全・安心でおいしい学校給食を提供することにより、子どもたちの心身の健全な発達と毎月「食育の日」設定・推進により、食に関する正しい知識を養うことができた。併せて、地域の振興と活性化に寄与することもできた。</p> <p>(2) 学校給食施設整備事業</p> <p>天草市学校給食基本計画に基づき、児童生徒の減少・倉岳学校給食センターの老朽化及び衛生管理基準への適合化等の課題に対応することを目的に、栖本学校給食センターと倉岳学校給食センターを統合するための、設計業務委託を行った。</p>

評価・課題	<p>学校教育課</p> <p>(1) 学校教育研究委員会 今後も教育改革や学習指導要領の全面実施に伴い、基礎的・基本的知識及び技能の確実な習得とそれを活用するときに必要な思考力・判断力・表現力の育成をめざした問題集の作成が必要である。また、いじめ防止には、早期発見、早期対応が効果的であることから、今後も定期的にいじめに関するアンケートを実施し、結果を分析・考察し実態を明らかにする必要がある。</p> <p>(2) 外国青年教師招致事業 外国青年を外国語指導助手として市内小・中学校に配置し、生きた外国語の学習、異文化交流を通して語学力の向上と外国語の授業の改善が図られた。また、小学校に巡回訪問することで、児童が外国語に触れ、外国語に親しむことができた。今後は、学校の統廃合に伴い、担当校の見直しや、巡回方法等を検討する必要がある。</p> <p>(3) 学習指導補助教員の配置 学習指導補助教員の配置については、各学校からの配置要望が多いため、各学校の状況を十分把握して、優先順位を設け効果的な配置を行う必要がある。</p> <p>(4) 読書活動支援事業 専門的知識を有する司書の配置により、蔵書分類、図書室のレイアウト等環境整備が充実し、又新刊図書の紹介、本の借り方指導等が徹底され図書室利用の活性化、児童・生徒の読書活動意欲が促進された。また、読み聞かせをしたり、童話発表会の指導・助言を行ったりするなど、専門性を生かした取り組みができています。今後は、学校の統廃合による適正な配置と人員の確保が重要となる。</p> <p>(5) 総合的な学習活動支援事業 事業の目的である体験活動等の学習で経験したことが、いかに学習意欲の向上に繋がるか、これまでの実績を踏まえ有効な学習計画を検討する必要がある。</p> <p>(6) ふるさと体験事業 天草を知るための有効な事業であり、学校で学習したことを実際にその場所で見学したり体験することで理解が深まるなど効果も現れており、これまでの実績を踏まえ、今後の事業拡大や有効な取り組み方法を検討し、目的達成のための内容の充実を図る必要がある。</p> <p>(7) 学校訪問の充実 学校訪問の形態は全日訪問、経営訪問、事務局訪問とあるが、前年度の訪問で把握した各学校の実情に応じて、より効果的な訪問の在り方を検討する必要がある。また、平成24年度からは、中学校も全面実施となり、小・中ともに新学習指導要領による教育活動が展開されているので、学校訪問での指導事項、確認事項についてもさらに検討を重ねる必要がある。</p> <p>(8) 研究指定校の成果の普及・活用 市指定教育研究推進校については、今後も研究推進校を指定し、その成果を市内の全幼稚園・小・中学校に普及していくことで、天草市教育の質の向上を図っていく必要がある。</p>
-------	--

教育総務課	<p>(1) 離島高校生修学費支援事業 本市における教育機会均等の観点から、高等学校等が設置されていない御所浦地区の高校生が、安心して勉学に打ち込める環境を整備することができた。今後、他地域の高校生を持つ保護者への対応が課題になると思われる。</p> <p>(2) 姉妹都市教育交流事業 異文化体験や国際理解を深めることにより、相互において大変意義のある事業となった。今後も、更に派遣体制の整備を行い、市民との協働により事業の推進を図りたい。</p> <p>(3) 学校規模適正化 学校規模適正化(学校統廃合)推進計画どおりに統合ができた。学校統合により、児童が、よりよい教育環境の中で、より効果的な教育が受けられるようになった。課題としては、統合による児童、生徒の心の負担の軽減、安心、安全な通学の確保、廃校跡地の利活用があげられる。</p>
生涯学習課	<p>●成人式 地元で特色ある開催を望む声が多く、また、開催日も8月16日、1月3日、4日と統一されていないため、当面は各地区で開催して継続するが、成人者が減少してきていることから、市で一本化又は近隣旧市町合同での開催を検討する時期に来ている。 なお、変更する場合は、早めの決定と十分な周知が必要である。</p>
学校給食課	<p>(1) 地産地消の推進 食材によりばらつきがあり、米はほぼ100%の地産地消率であるが、肉類は地場産の価格が高く、市外からの物が多い。野菜等は時期により地元産の食材がないなど、安定した量の確保についても、課題が多い。</p> <p>(2) 学校給食施設整備事業 平成25年度に計画していた設計業務委託を終了し、目標を達成することができた。今後は、天草市学校給食基本計画に基づき、老朽化が進んでいる他の給食センターについても、順次計画を進める必要がある。</p>

	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成
取り組みと成果	生涯学習課	<p>●公民館改修事業・コミュニティセンター整備事業・移動図書館事業・移動図書館車購入事業・童話発表会・生涯学習推進事業・勤労青少年ホーム教養講座</p> <p>いつでも、どこでも、自由に、多様な学習の機会から選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される環境を整備し、生涯学習の振興に努めるために、生涯学習推進事業、公民館主催の各種講座、勤労青少年ホーム教養講座など学習機会の提供、あるいは童話発表会などの学習の成果を発表する場の提供を図った。</p> <p>また、地域住民が気軽に学べる場所として、公民館や図書館等の社会教育施設の整備を図るとともに、移動図書館車を購入して、図書館から遠距離にある地域に居住する市民へも読書の機会を提供した。</p>
評価・課題	生涯学習課	<p>●公民館改修事業・コミュニティセンター整備事業・移動図書館事業・移動図書館車購入事業・童話発表会・生涯学習推進事業・勤労青少年ホーム教養講座</p> <p>それぞれのライフステージや現代的課題に対応した講座等を開催した。公民館事業は再編後1年が過ぎ、学習機会の提供に特化したことと併せ、地域の特色を活かした講座の開催により着実に効果がでてきている。また、勤労青少年ホーム教養講座では、より多くの青少年が受講できるように短期講座を中心に提供した。</p> <p>しかし、市域が広く全市民を対象としても会場周辺の住民の参加となっているため、講座等の開設の仕方や形態については、多様な事業の工夫が必要で、地区振興会等の諸団体・諸機関との連絡、調整をはかり、共同事業を企画するなど新たな展開が必要である。</p> <p>また、高齢者を対象とした講座等が主体となっているため、各年代を対象とした講座等を実施し、より多くの参加者が得られるように努める。</p> <p>今後さらに、具体的な学習事例や各年代に応じた学習情報等を提供し、生涯学習への理解と関心を深めるような啓発活動を推進していく必要がある。</p> <p>施設整備については、維持のための改修がほとんどであり、施設の充実には繋がっていない。</p>

基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進
取り組みと成果	<p>学校教育課</p> <p>(1) コミュニティスクールの推進に向けた取り組み 平成23年7月1日付けで、二江小学校に学校運営協議会を設置した。15人の学校運営協議会委員を任命し、地域の教育力を積極的に取り入れた学校運営が行われた。本町小学校では、これまでの4つの支援コミュニティの取組を継続するとともに、子どもたちへの学習支援を行う学習支援ボランティアの取組も新たに始められた。以上の取組により、地域の教育力を積極的に学校教育へ活かすことができ、児童の豊かな心の育成や学力の向上につなげることができた。</p> <p>(2) 学校の自己評価 市教委への報告の様式を大まかに示したことにより、各学校の学校評価の在り方について、その状況把握が容易になり、より客観的に取組の様子について把握することができるようになった。また、校長会議や教頭研修会において、他校の取組の様子を紹介、発表することで、学校評価の在り方について研修を深めることができた。</p>
	<p>生涯学習課</p> <p>(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。 ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。社会を明るくする運動推進委員会の開催高校生や一般市民からの標語及び小中学校児童生徒の作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表等を行った また、天草市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校・家庭・地域社会が一体となって連携・協力し、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的として、教育力活性化推進大会と社会を明るくする運動推進大会を合同で開催した。</p> <p>(2) 放課後子ども教室・青少年健全育成事業 家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域の教育力の向上と青少年の健全育成を図るため、放課後子ども教室事業等により地域住民の協力を得て、放課後等の子どもたちの居場所の確保や遊びの伝承、学習機会の提供を図ることで子どもたちの自主性や創造性を育む活動を支援した。 また、地域や各種団体が行う青少年の各種体験事業や、他地域との交流事業等の支援を行う青少年健全育成事業を行った。</p>

評価・課題	学校教育課	<p>(1) コミュニティスクールの推進に向けた取組み 本町小学校及び二江小学校のコミュニティスクールについては、学校と地域が一体となって子どもたちの教育に取り組んでおり、豊かな心や確かな学力の育成の面から、大きな成果があった。今後、この2校の取組をモデルとして、コミュニティスクールを他の学校においても拡大していく必要がある。</p> <p>(2) 学校の自己評価 学校の事務負担を増加させずに、効果的な学校評価が実施できるよう、評価手法等の調査や優れた取組の普及に努めていく必要がある。</p>
	生涯学習課	<p>(1) 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会 社会を明るくする運動については作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、推進大会の開催により、天草市の教育の現状について理解を深め、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、すべての分野の教育力の活性化を推進することができた。 市民のニーズや社会状況に合わせた講師や事例発表の内容等を検討していく必要がある。</p> <p>(2) 放課後子ども教室・青少年健全育成事業 事業を実施している地域や団体においては、事業の成果も出ている。地域住民の参画を得ることで実施可能な事業であるが、ボランティアとして活動できる人は限られており、市域全域への事業の拡大は難しい状況ではあるが、事業周知を広報等で行っていききたい。 また、行政の支援がなければ継続も難しい事業であり、引き続き支援を行いたい。</p>

IV 外部点検評価

1 点検評価員

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
石 橋 敏 郎	熊本県立大学総合管理学部教授
松 尾 博 之	元天草市教育委員

2 会 議

第1回点検評価員会議

- ・平成26年 7月24日(木) 本庁別館 会議室B(午前)・会議室C(午後)

第2回点検評価員会議

- ・平成26年 8月18日(月) 本庁別館 会議室C

3 点検評価員の主な意見

①教育総務課の所管について

- ・五和小中学校建設事業について、計画通りに建設が完了している。小中一貫教育のモデル校として、児童生徒が安心して教育を受ける環境が整備された。
- ・小・中学校施設営繕事業について、要望が多く予算が伴っていない。緊急度等により優先順位を付けて、要望箇所をできるだけ整備するよう、継続して取り組む必要がある。
- ・離島高校生修学費支援事業について、離島振興法を活用した事業であり、御所浦地区の高校生の保護者にとって、有益な補助金となっている。他地区からの進学状況を考えた場合、今後は、対象を天草市内の高校に限定等検討する必要があると思われる。
- ・姉妹都市教育交流事業について、より多くの学生を派遣することが理想的であるが、現在は制限があり検討が必要と思われる。今後は、受入れ組織の充実も図りながら、派遣時については、負担金を徴収する等の見直しを行い、継続して取り組んでいただきたい。
- ・小・中学校統合推進事業について、児童生徒の減少を視野に入れて、学校規模適正化推進計画の見直しを図りつつ、計画的に統廃合が達成できるよう、努力していただきたい。目標値については、最終目標値を並記した方が良いのではないかと。

②学校教育課の所管について

- ・道徳教育・人権教育の推進(学校訪問指導)について、基本的に学校訪問時に行われている。天草市教育振興基本計画に基づく事業であるが、将来的には「学校訪問の充実」事業と統合する方向で検討すること。また、近年のネット社会に対応した教育・指導に努めていただきたい。
- ・天草市特別支援教育総合推進事業について、会議・研修内容が固定化しないように、毎年テーマ等を決めて開催することとし、今後も事業内容の見直しを図りながら、進めていただきたい。
- ・環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)について、昨年と同様に「市表彰も検討する」となっている。予算も必要になるが、事業を推進するためには、市表彰を実施すべきと

思われる。

- ・心の教室相談事業について、担当課は異なるが、「家庭教育支援員配置事業」及び「家庭教育学習支援事業」と同様の事業と思われる。相談員の配置状況を検討し、「総合相談事業」を創設する等、新たな事業展開を検討すべきである。
- ・適応指導教室設置事業について、不登校(気味)の生徒に対して必要な事業である。他地区への設置も検討する必要があるのではないか。
- ・教育相談事業について、「心の教室相談事業」と同様の事業である。将来的には「総合相談事業」へ発展させ、カウンセラー・アドバイザーを適正に配置したらどうか。
- ・スクールバス運行事業について、学校の統廃合に伴い遠距離通学者も増加しており、安全・安心面から必要な事業である。教育の一環でもあるため、通学の安全について委託業者への十分な指導をお願いしたい。
- ・学校教育研究委員会について、「教育課程部会」「いじめ不登校部会」「小中一貫教育研究部会」を組織し、各課題に対して部会ごとに取り組んでおり、重要な事業である。今後も継続して進めていただきたい。
- ・外国青年教師招致事業について、11人の外国語指導助手において、担当校数にバラツキがあるようだ。偏った編制とならないよう、適正な運用が望ましい。
- ・学習指導補助教員設置事業について、要望数に対して配置数が不足している。支援が必要な子どもも増加傾向にあり、補助教員を増やす方向で予算要求をすべきである。事業の方向性については、「拡充」でよいと思われる。
- ・読書活動支援事業について、天草市における子ども一人当たりの図書率が低いようである。図書整備の充実が望まれる。また、学校司書については、国の基準に則した配置となるよう、今後も継続して取り組んでいただきたい。
- ・総合的な学習活動支援事業(小)・(中)について、より効果的な事業の推進を図るために、担当課は異なるが、「青少年健全育成事業」と連携し、相互利用する方向で検討したらどうか。
- ・ふるさと体験事業について、本年度予算より、「総合的な学習活動支援事業」と統合されたとのことである。同事業と同様に、より効果的な事業の推進を図るために、担当課は異なるが、「青少年健全育成事業」と連携し、相互利用する方向で検討すべきである。
- ・学校訪問指導の充実について、将来的には「道徳教育・人権教育の推進(学校訪問指導)事業」と統合する方向で検討していただきたい。
- ・市指定教育研究推進校補助金について、希望に応じ毎年推進校が指定されており、教育の質の維持向上のためには、必要な取り組みである。小規模の学校でも取り組めるような工夫も必要と思われる。
- ・コミュニティスクールの推進に向けた取組みについて、学校と地域との繋がりが強い所で実施されているようだ。事業を推進するためには、「学校経営への参加」から広げていく方法もあるのではないか。
- ・学校の自己評価について、よりよい学校経営となるような、厳しい評価が望ましい。各学校で違いが出てくる事が無いよう、評価手法の基準が重要である。

③生涯学習課の所管について

- ・ 家庭教育支援員配置事業について、担当課は異なるが、「心の相談室事業」及び「教育相談事業」と同様の事業と思われる。連携を図った事業展開を検討すべきである。
- ・ 家庭教育学習支援事業について、「家庭教育支援員配置事業」と同様の事業である。研修機会を増やすためにも、連携を図った事業展開を検討する必要がある。
- ・ 成人式について、参加者が自覚を持って参加するようなやり方が望ましい。また、成人者が少ない地域においてアンケート調査を実施し、近隣旧市町合同での開催を段階的に実施する等、改善を図っていくべきである。
- ・ 公民館改修事業(緊急経済対策)について、補助事業の採択関係はあるが、利用者の安全を確保するためにも実施すべき事業である。なお、指標名は「本渡地区公民館耐震診断」とし、単位については、「公民館数」とすることが望ましい。
- ・ コミュニティセンター整備事業(含む緊急対策)について、市全域に存在しているため、計画的な事業の実施が必要である。また、事業計画については、「施設の整理・統廃合基本計画」の策定を待って計画するべきである。なお、事業を単年度とするかどうかについては、今後検討を加える必要がある。
- ・ 移動図書館事業について、実績値を見ても地域にとっては必要な事業である。なお、前年度の検討結果により、「利用冊数」・「利用者数」ともに、前年度実績値を目標値にすることに決定している。指標については、適正に記載すること。
- ・ 移動図書館車購入事業について、積載冊数が増加し、利用者へのサービスの充実が図られている。なお、指標には「移動図書館車数」の記載が望ましい。
- ・ 童話発表会について、熊本県大会につながる事業であり、来場者も2会場で300人程度ある。今後も継続して実施する必要がある。
- ・ 生涯学習推進事業について、講座の内容が大事である。現在は高齢者主体の事業となっており、幅広い年齢層へ拡充していくことが課題である。また、公民館活動と振興会活動との住み分けも必要である。
- ・ 勤労青少年ホーム教養講座について、基本的に35歳までが対象となっているが、「生涯学習推進事業」と連携を図った事業展開を検討すべきと思われる。また、子ども会活動との連携、放課後子ども教室の指導者育成等も取り組んだらどうか。
- ・ 社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会について、本渡・牛深のみで開催されている。施設の関係もあるが、開催地域の選定について、今後も引き続き検討していただきたい。
- ・ 放課後子ども教室について、コーディネーターの人材確保が困難な問題もあり、実施校数が減少している。事業の実施については、必ず要望があると思われるので、継続して取り組む必要がある
- ・ 青少年健全育成事業について、より効果的な事業の推進を図るために、担当課は異なるが、「総合的な学習支援事業(小)・(中)」と関連性を持たせる等の工夫が必要である。

④ 学校給食課の所管について

- ・ 地産地消の推進について、熊本県産の推進を図ると共に、出来るだけ天草産の地産地消に努力する必要があるのではないか。数量・価格等の問題もあるが、指標についても「天草産の地産地消」を取り入れ、継続して取り組むべきである。
- ・ 学校給食施設整備事業について、老朽化が進んでいる他の給食センターについても予算を確保し、継続して計画を進める必要がある。

4 総合評価

石橋敏郎氏

事業評価も数年が経過した。その間、評価対象事業、評価の指標、達成状況、課題、方向性の書き方(継続とか拡充)等について、何度もやりとりを重ねることで、各担当部署間での共通理解が定着してきたように思われる。その結果、評価の統一性が図られ、記述もより分かりやすい表記へとつながってきている。今後は、以下のような点にも配慮しながら(前年度からの指摘も含む)、事業評価のやり方と内容をいっそう進化させつつ、事業のより効果的な実施に向けて努力される事を望む。

- | |
|--|
| ① 今後も継続してなされる施設営繕事業、例えば、小中学校の建設工事・改修工事、公民館改修工事、コミュニティセンター整備事業等については、当該年度になされる予定の工事を目標値として掲げ、それに対する達成度を表記するだけでなく、その他にも工事を要する施設の数や整備箇所も併記することで、事業が、全体から見て、現在どの程度まで達成されているのかが分かり、将来の展望が理解しやすくなるのではないかとと思われる。 |
| ② 道徳教育・人権教育の推進(学校訪問指導)(整理番号1)と学校訪問指導の充実(整理番号22)および学校の自己評価(整理番号36)とはかなり重複する部分があり、将来的には統合して、指導を質・量ともに充実したものにするとも考えたらどうかと思われる。 |
| ③ 心の教室相談事業(整理番号4)、教育相談事業(整理番号6)はともに、児童・家庭に対する相談事業であり、将来的には、新しく「心の教育総合相談支援センター」などの設置により統合して、より効果的で、かつ、充実した相談体制が築けるように工夫してもらいたい。同様に、家庭教育支援員配置事業(整理番号11)、家庭教育学習支援事業(12)も、その内容の充実に向けて、統合していく必要があるのではないかとと思われる。 |
| ④ 小中学校の総合的な学習活動支援事業(整理番号17、18)、ふるさと体験事業(整理番号19)、青少年健全育成事業(整理番号39)は、ともに、体験活動を通じて青少年の健全育成を図ろうとする事業であり、それぞれが歴史と特徴を持って展開されてきていることは理解するが、今後は、それぞれが独立した別個の事業と考えるのではなく、相互に利用しあうことで、さらに有意義な、かつ、効率的な運営ができるのではないかとと思われる。さらなる検討をお願いしたい。 |
| ⑤ 生涯学習推進事業(整理番号33)、勤労青少年ホーム教養講座(整理番号34)は、年齢層によって受講者を区分するのではなく、老若男女、誰もが利用できる生涯学習講座として再編成することも考えられて良いのではないかと。 |

以上のような指摘を踏まえて、天草市には、これからも事業評価を単年度ごとの達成状況

評価と限定して考えるのではなく、それぞれの事業の有効的なあり方(統合・充実も含めて)とは何なのか、その事業は将来どうあるべきかといった将来展望を常に念頭におきながら、個々の事業のよりよい展開について考えていく際の指標として、有効に活用していかれることを望む。

松尾博之氏

平成24年度より点検評価委員として活動させて頂いているが、報告書は、これまでの点検評価員や石橋先生の指摘により、ほぼ精査されてきたように感じる。大きな修正箇所は無いが、若干気付いた点については次のとおりである。

①点検評価の記入方法について

総合評価の部分は、記入方法が統一されて良かったと思われる。しかし、厳しい見方をすれば、課及び係によって調書作成に温度差が感じられた。文言等にも気配りが感じられ、「毎年改善していこう」という部署もあったが、例年通りの記載内容に止まっている部署も見受けられた。

点検評価は、人に見せる為のものではなく、各部署一人一人の為のものであり、各部署が一年かけて頑張ってきた証の様なものである。今後全ての部署が、その結果や意欲を、この調書において積極的に表現して頂きたい。

②総合評価について

記入方法が統一され、非常に分かりやすくなった。但し、各部署により「評価」「総合評価」「方向性」の流れに、若干記入方法の理解にずれが感じられた。決して、「達成状況の数値」が低い事が悪い訳ではない。達成したくてもできない状況等を、総合評価や方向性で表現して頂きたい。

特に、「総合評価」の「今後の課題」の部分には、担当者や部署の想い・要望を、しっかりと記入した方が良いと思われる。

③今後の方向性について

新規・改修工事や購入等の事業については、評価のしようがないため、点検評価の対象としなくても良いと思われる。また、毎年一つは、過去に点検評価の対象となっていない事業を、必ず取り入れて頂きたい。

また、各部署に跨った、方向性の同じような事業が幾つも見受けられる。決して予算削減という意味では無いが、各課が持ち寄り精査し、効率の良い「市民の為になる事業」に統一した方が良いと思われる。ぜひ天草市教育委員会ならではの、素晴らしい事業成立をお願いしたい。

最後に、天草市として9年目、合併前の意識が消えない実情があり、消せない部分も多々あると思われるが、行政のプロとしての高い意識を持ち続ける、教育委員会を目指して頂きたい。

V 今後の方向性

(1) 点検評価調書の様式の見直し(評価欄等)を行うとともに、内部評価についても統一的な

「評価」となるよう、部署内で十分協議・検討を行う。

- (2) 点検評価員の意見を真摯に受け止め、事業を整理するか、もしくは、充実させるか等について検討を重ね、今後の教育行政の運営に反映させる。
- (3) 点検評価の結果を次年度の予算に反映させるため、毎年9月市議会定例会に報告する。

点検評価事業一覧

教育目標	基本方針	努力目標	事務事業名	部門
<p>夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり</p> <p>自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり</p>	<p>① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成</p>	<p>道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな感性を育て、心の教育の充実を図る。</p>	1 道徳教育・人権教育の推進（学校訪問指導）	<p>学校教育課</p>
			2 天草市特別支援教育総合推進事業	
			3 環境教育の推進（環境にやさしい学校づくり）	
		<p>教育相談体制を充実するとともに、いじめや不登校、問題行動等の解消及び未然防止に向けた取組を推進する。</p>	4 心の教室相談事業	
			5 適応指導教室設置事業	
			6 教育相談事業	
	<p>安全・安心で快適な施設等の整備充実を図る。</p>	7 五和小中学校建設事業	<p>教育総務課</p>	
		8 小学校施設営繕事業		
		9 中学校施設営繕事業		
		10 スクールバス運行事業		学校教育課
	<p>家庭教育力の回復に向けて、保護者等に対する講座の開催や情報の提供を行い、家庭教育の充実と推進を図る。</p>	11 家庭教育支援員配置事業	<p>生涯学習課</p>	
		12 家庭教育学習支援事業		
	<p>② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成</p>	<p>基礎・基本や自ら考える力を身につけさせ、確かな学力の向上に努めるとともに、健康・体力の向上を図る。</p>	13 学校教育研究委員会	<p>学校教育課</p>
			14 外国青年教師招致事業	
			15 学習指導補助教員設置事業	
			16 読書活動支援事業	
			17 総合的な学習活動支援事業（小）	
			18 総合的な学習活動支援事業（中）	
			19 ふるさと体験事業	

点検評価事業一覧

教育目標	基本方針	努力目標	事務事業名		部門
<p>夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり</p> <p>自然や伝統・文化を大切に、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり</p>	<p>② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成</p>	基礎・基本や自ら考える力を身につけさせ、確かな学力の向上に努めるとともに、健康・体力の向上を図る。	20	離島高校生修学費支援事業	教育総務課
			21	姉妹都市教育交流事業	
		教育専門職としての指導力を向上させるとともに、信頼される教職員としての意識改革を図る。	22	学校訪問指導の充実	学校教育課
			23	市指定研究推進校補助金	
		安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに、地産地消を推進する。	24	地産地消の推進	学校給食課
			25	学校給食施設整備事業	
		学校の統廃合による学校規模適正化計画を策定し、教育効果を重視した学校づくりを推進する。	26	小・中学校統合推進事業	教育総務課
	家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。	27	成人式		
	<p>③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成</p>	地域住民が気軽に集える場としての社会教育施設の整備の充実を図り、生涯学習の奨励と普及を推進する。	28	公民館改修事業	生涯学習課
			29	コミュニティーセンター整備事業	
		図書館は、市民の読書活動を推進するためボランティアの協力を得ながら、地域や家庭に広がっていくよう図書館事業を展開する。また、市民の情報センターとして、多様な要求に応えるとともに、情報を収集・管理し広範な知識や情報の発信に努める。	30	移動図書館事業	
			31	移動図書館車購入事業	
			32	童話発表会	
		公民館や社会教育施設は、住民の最も身近な行政機関として市民と協力し、社会の要請と市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供と生涯学習の支援を図る。	33	生涯学習推進事業	
	<p>④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進</p>	家庭や地域と連携し、学校を支援する体制づくりを進め、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	35	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み	学校教育課
			36	学校の自己評価	
		人権に対する正しい認識と理解を深めるための学習の機会を提供し、市民の人権意識の高揚と人権尊重の実践に努める。	37	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会	生涯学習課
		家庭・学校・地域の連携を強化し、青少年教育に携わる指導者の育成や青少年団体の自主活動の支援など地域教育力の向上と青少年の健全育成に努める。	38	放課後子ども教室	
			39	青少年健全育成事業	

点検評価調書		整理番号	1				
事業名	道徳教育・人権教育の推進(学校訪問指導)			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を充分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育目標の努力目標「道徳教育や人権教育を推進し、思いやりや規範意識をもった豊かな感性を育て、心の教育の充実を図る。」に基づき、人材の育成及び児童・生徒の個性の尊重を図り、併せて本市教育水準の向上に資するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、学校訪問を行っている。						
内容	<p>○学校訪問時の指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法規や児童生徒の実態、重点目標が明記された全体計画が作成されているか。 ・各教科、領域等との整合性のある年間指導計画が作成されているか。 ・児童生徒の発達段階に即した系統的な指導計画が作成されているか。 ・計画に即した実践が行われ、記録されているか。 <p>○授業参観時の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案に人権教育の視点が位置づけられているか。 ・人権に配慮した授業が展開されているか。 ・道徳学習指導要領に即した指導が行われているか。 						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施学校数	校	目標値			
				実績値	42		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 心豊かに生きる子どもの育成に貢献している</p> <p>○市関与の必要性 豊かな心を育み人権感覚をもつ人の育成は、地域住民、保護者の願いである。</p> <p>○達成状況 学校訪問7日前には、各学校から道徳教育・人権教育の教育指導計画を提出させ、全体計画・年間指導計画の上記視点での点検・評価を行い、一覧表に指導事項として整理して各学校に渡している。その結果、前年の指導を基にした改善が図られている。また、実践記録は次年度の計画・実践の改善に活用されている。実際に授業参観時の上記の視点での指導は、分科会で直接授業者に伝え、その後反省・指導として文書で提出することになっている。このように、学校訪問で道徳教育・人権教育の推進が図られるよう指導を行っている。</p> <p>○今後の課題 心の教育に関してはこれで良いというゴールはない。また、規範意識の低下やいわゆる情報化の陰の部分に対応した学びも、より充実させていく必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	2					
事業名	天草市特別支援教育総合推進事業			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を充分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>社会の変化や子どもの障がいの重度・重複化、多様化に対応し、発達障害を含む障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子どもの一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や支援の実施に向けて、幼稚園・保育所(園)・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者からなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会を(13区)を設置し、天草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の推進を図る。</p>							
内容	<p>本事業の主たる内容をコーディネーター研修、推進会議、実務担当者会議及び巡回相談とし、それらの実施を通して幼稚園・保育所(園)・学校における特別支援教育の体制整備を推進する。 推進会議(年2回実施)では、本年度の事業全体の計画、取組について協議・評価を行い、取組の改善につなげる。また、実務担当者会議(年4回実施)では、コーディネーター研修及び推進会議に向けての協議を行い、各会議・研修の充実を図る。各会議においては、各園・学校の実態把握に基づいて内容の充実を図るとともに、今日的な課題等も取り入れるなど、ニーズに応じた取組が継続して行われるよう、会議内容を充実させる。 巡回相談は、各園・学校からの依頼を受け、専門的知識をもつ相談員を派遣し、専門的な立場からの助言や指導を通して、本人、保護者、教職員の悩みや課題の改善・解消につなげ、関係機関との連携と併せて、個別の支援の充実につなげる。</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	312 (一般 312)	会議開催回数	回	目標値	6			
				実績値	6			
	巡回相談件数	件	目標値			4	4	4
			実績値	216				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 一人一人の個性と能力を十分に発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 児童生徒、保護者、園・学校のニーズに応じた適切な支援体制の充実のため、関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 年間計画に基づき会議・研修を行うことができた。また、巡回相談の相談件数の増加及び報告書の内容等から、個別のニーズへの支援の充実がみられる。</p> <p>○今後の課題 園・学校における体制整備、担当者の資質の向上に向けた取組をさらに充実させる必要がある。</p>						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	3					
事業名	環境教育の推進(環境にやさしい学校づくり)			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	児童・生徒が、環境や環境問題に関心を持ち、人間活動と環境との関わりについての総合的な理解 の上に立って、持続可能な社会の構築をめざして環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる 技能や態度を育成する。							
内容	各学校における環境教育の充実を図るとともに、児童・生徒が自ら考え行動し、環境にやさしい学 校づくりのための学校版環境ISOコンクールに取り組む。 具体的には、校内ISO委員会を中心とした児童生徒の主体的な活動のもとで、宣言項目の決定、 行動計画の作成、そして、実践、見直しといったPDCAの取組みを進める。							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価				
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施学校数	校	目標値	42			
				実績値	42			
			目標値		4	4	4	
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 環境を守ること、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会で活躍する人材育成のために寄 与している。</p> <p>○市関与の必要性 環境問題の取組は、世界全体での取組でもあり、市関与の必要性は極めて高い。</p> <p>○達成状況 学校版環境ISOコンクールへ市内全小・中学校が参加することにより、「宣言→行動→点 検→見直し」の基本的なサイクルをもとに、各学校の地域性等を生かした特色ある活動が 展開されている。各学校において、全ての教育活動における環境教育の充実が図られて おり、児童・生徒の環境保全に対する意識が高まっている。</p> <p>○今後の課題 今後も取組を継続し活動が充実している学校については、校長会で紹介するなど、顕彰の 機会をもうける。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	4				
事業名	心の教室相談事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を充分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	中学校6校の相談室に「心の教室相談員」を1人配置し、不登校気味の生徒の適応指導や問題行 動等に関係する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行う。						
内容	[心の教室相談員] 心の教室相談員は、本渡地区2校、牛深地区1校、五和地区1校、天草地区1 校、河浦地区1校 計6校へ配置 業務内容:① 教育相談 ② 相談室登校への対応 ③ 保 護者との連携推進 報酬:時間当たり1,000円 週20時間以内						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	4,140 (一般 4,140)	相談件数	回	目標値			
				実績値	3,239		
	相談員設置校数	校	目標値	13	4	4	3
			実績値	6			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 いじめ・不登校問題の解決、未然防止に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 義務教育期間であるため、積極的に関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 配置校では相談件数が増加傾向にあり、当該事業の目的をほぼ達成 することができた。しかし、未配置校への相談員配置はできず、現状のま まの配置状況となった。</p> <p>○今後の課題 現在6校に相談員を配置している。未配置である7校にも相談員を配 置する必要がある。</p>					方向性	拡充

点検評価調書		整理番号	5				
事業名	適応指導教室設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を充分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市勤労青少年ホームの一室に適応指導教室「カワセミ学級」を設置し、心理的又は情緒的理 由により登校できない状態にある生徒(市内中学校)に対して、「引きこもり」の防止、学校復帰等を目 的とした指導及び援助を行う。						
内容	教員免許を有する適応指導教室教員2名を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育 相談等を実施している。 カワセミ学級時間割 朝の会10:00～ (学習・給食) 帰りの会～15:00						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	4,918 (一般4,918)	通級生徒数	人	目標値			
				実績値	9		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校に登校できない子供たちに教育を受ける機会を別に提供する事業として、その存在意義はある。</p> <p>○市関与の必要性 義務教育期間であり、不登校解消に関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 この教室に通級しながら学び、本校へ復帰して、その後欠席もなく卒業した生徒もあるなど、事業の目的を達成することができた。</p> <p>○今後の課題 通級生徒全員が指定の学校に復帰できることを目標に、指導支援を行う必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	6				
事業名	教育相談事業			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	開かれた学校づくりの推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	教育相談員(教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー)を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、小・中学校の児童・生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを支援する。 また、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施する。						
内容	教育相談カウンセラー(臨床心理士・言語聴覚士等)は要請のあった園、学校に出向きカウンセリングを実施。助言指導や情報の提供を行う。また、教職員等の研修講師や保護者講話等も行う。教育指導アドバイザーは相談のほか教育全般への指導助言を実施。						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	3,526 (一般 3,526)	カウンセラー人数	人	目標値			
				実績値	5		
	カウンセリング件数	件	目標値		4	4	4
			実績値	125			
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ○上位施策への貢献 家庭を基盤として、子供たちの基本的な生活習慣や態度を養うために貢献している。 ○市関与の必要性 子育て全般(子どもの発達や不登校等)や特別支援教育等で不安を抱える保護者、また関係教職員からのニーズは依然として高い。 ○達成状況 就学前の幼児及び小・中学校の児童・生徒の健全な育成を図るために有効である。目的達成度は高い。 ○今後の課題 教育相談を必要とする潜在的なニーズはもっと高いと思われる。早期発見と早期対応が必要である。 					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	7				
事業名	五和小中学校建設事業			担当課係名	教育総務課 施設係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	耐震診断結果、耐震性が低かった五和東・西中学校を統合し、五和中学校を建設。また、五和町内の小学校も併せて統合・建設し、小中一貫・連携教育のモデル校として、児童生徒が安心して学校教育を受ける環境の向上を図る。						
内容	【事業期間】 平成21年度から26年度 【事業費】 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校校舎建築工事 1,517,291,215 円 ・ 中学校体育館建築工事 446,307,650 円 ・ 小学校プール建築工事 110,428,002 円 ・ 中学校グラウンド整備工事 92,248,825 円 ・ 中学校プール建築工事 79,135,126 円 ・ 外構工事 71,781,516 円 ・ 小学校グラウンド整備工事 57,901,930 円 ・ 旧五和西中解体 42,163,516 円 ・ 小中太陽光発電工事 38,910,401 円 </td> <td style="width:50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校体育館改修工事 38,826,551 円 ・ 工事監理業務委託 18,279,060 円 ・ 小学校倉庫便所工事 17,136,000 円 ・ 仮設校舎リース料 11,233,400 円 ・ 中学校体育倉庫工事 9,199,050 円 ・ 大島地区排水対策 1,301,884 円 ・ 水道事業負担金 4,555,320 円 ・ 家屋等補償 1,295,710 円 ・ その他事務費 1,297,451 円 </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校校舎建築工事 1,517,291,215 円 ・ 中学校体育館建築工事 446,307,650 円 ・ 小学校プール建築工事 110,428,002 円 ・ 中学校グラウンド整備工事 92,248,825 円 ・ 中学校プール建築工事 79,135,126 円 ・ 外構工事 71,781,516 円 ・ 小学校グラウンド整備工事 57,901,930 円 ・ 旧五和西中解体 42,163,516 円 ・ 小中太陽光発電工事 38,910,401 円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校体育館改修工事 38,826,551 円 ・ 工事監理業務委託 18,279,060 円 ・ 小学校倉庫便所工事 17,136,000 円 ・ 仮設校舎リース料 11,233,400 円 ・ 中学校体育倉庫工事 9,199,050 円 ・ 大島地区排水対策 1,301,884 円 ・ 水道事業負担金 4,555,320 円 ・ 家屋等補償 1,295,710 円 ・ その他事務費 1,297,451 円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校校舎建築工事 1,517,291,215 円 ・ 中学校体育館建築工事 446,307,650 円 ・ 小学校プール建築工事 110,428,002 円 ・ 中学校グラウンド整備工事 92,248,825 円 ・ 中学校プール建築工事 79,135,126 円 ・ 外構工事 71,781,516 円 ・ 小学校グラウンド整備工事 57,901,930 円 ・ 旧五和西中解体 42,163,516 円 ・ 小中太陽光発電工事 38,910,401 円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校体育館改修工事 38,826,551 円 ・ 工事監理業務委託 18,279,060 円 ・ 小学校倉庫便所工事 17,136,000 円 ・ 仮設校舎リース料 11,233,400 円 ・ 中学校体育倉庫工事 9,199,050 円 ・ 大島地区排水対策 1,301,884 円 ・ 水道事業負担金 4,555,320 円 ・ 家屋等補償 1,295,710 円 ・ その他事務費 1,297,451 円 						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	2,559,293 国(1,126,960) その他(1,460) 一般(1,430,873)	整備校数	校	目標値			
				実績値	1		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	○上位施策への貢献 学校規模適正化を図るための事業であり、貢献度は高い。 ○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。 ○達成状況 工期までには完了し、達成できた。					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	8					
事業名	小学校施設営繕事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育施設等の整備			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	小学校29校の施設の危険箇所及び老朽箇所を把握し、児童の安全確保と教育環境の維持向上を 図るため修繕、改修を行う。							
内容	<p>【小学校の危険箇所、老朽箇所等の修繕、改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 69,800千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・手数料 163千円 ・設計委託料 5,988千円 ・仮設トイレリース料 4,881千円 ・営繕工事費 58,768千円 <p>【主として整備した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教室改修、手摺設置、通学路舗装補修、給水管設置、トイレ棟増築、グラウンド排水、駐車場舗装、給食昇降機改修、軒先改修、プール改修、排水機場修繕、フェンス設置、側溝改修、空調設備取替、花壇撤去、トイレ改修等小学校34件の工事を実施 							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	69,800 (一般 69,800)	整備箇所数	件	目標値	40			
				実績値	34			
				4	4	3		
総合評価	○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なことである。 ○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。 ○達成状況 概ね計画どおり達成できた。 ○今後の課題 老朽化が著しい施設が多いため優先度を決め緊急性が高いものから計画的に実施する必要がある。					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	9					
事業名	中学校施設営繕事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育施設等の整備			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や 態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互い を認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	中学校13校の施設の危険箇所及び老朽箇所を把握し、生徒の安全確保と教育環境の維持向上を 図るため、計画的に修繕・改修を行う。							
内容	<p>【中学校の危険箇所、老朽箇所等の修繕、改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 17,732千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託料 427千円 ・営繕工事費 17,305千円 <p>【主として整備した内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水対策、換気扇フード取付、照明器具取替、災害防除、光ケーブル移設、特別支援教室改修、多 目的トイレ改修、防球ネット改修、事務職員室改修等中学校13件の工事を実施 							
・全体計画、概 要 (平成25年度) ・実績、活動状 況 ・補助対象団体 の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	17,732 (一般 17,732)	整備箇所数	件	目標値	20			
				実績値	13			
				4	4	3		
総合評価	<p>○上位施策への貢献 教育環境の整った施設で学習することは、学校教育を進めるうえで重要なこ とである。</p> <p>○市関与の必要性 市立学校の整備であり、安全な学校を整備する必要がある。</p> <p>○達成状況 概ね計画どおり達成できた。</p> <p>○今後の課題 老朽化が著しい施設が多いため優先度を決め緊急性が高いものから計画的 に実施する必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	10					
事業名	スクールバス運行事業			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育レベルの向上	施策の内容 学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	小・中学校の統廃合により、遠距離となった児童・生徒の通学手段を確保するため、スクールバスを運行する。							
内容	<p>スクールバス・スクールボートの運行(航)管理業務委託事業(平成25年度末)</p> <p>【本渡】小学校3台(市有1台) 中学校1台 【牛深】小・中学校6台(市有3台)</p> <p>【有明】小学校2台 中学校2台 【御所浦】小学校3台 中学校1隻(スクールボート)</p> <p>【倉岳】小学校2台 【栖本】小学校1台</p> <p>【新和】小学校4台 【五和】小学校3台 中学校3台</p> <p>【天草】小学校3台 中学校2台 【河浦】小学校4台 中学校 2台(市有2台)</p> <p style="text-align: center;">計 バス41台(市有6台) スクールボート1隻</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	220,420	スクールバス運行校	校	目標値	23			
				実績値	23			
	乗車人数	人	目標値	1125		4	4	4
			実績値	1125				
総合評価	<p>該当児童・生徒の安心で安全な通学手段の確保と、順調な運行を実施することができた。年1回は、バス事業者集まってもらい、指導を含め事業説明会を開催した。また、年度末には提案書に対する履行実績状況調査を行った。</p> <p>○上位施策への貢献 学校統廃合に伴う遠距離通学者の通学手段として貢献度は高い。</p> <p>○市関与の必要性 公立学校のスクールバスであり、市の関与は必要である。</p> <p>○達成状況 遠距離通学者の交通手段の確保により安心安全な通学環境が保たれている。</p> <p>○今後の課題 今後、学校の統廃合にあわせて拡充の必要がある。また、スクールバスは教育に関するものとしての位置づけを踏まえ、事業者及び運転手に対し児童生徒への対応等の指導を行う。</p>					方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	11				
事業名	家庭教育支援員配置事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校・地域の実情に応じた家庭教育に関する支援体制づくりや学習機会の提供等を行う支援員を市内の小学校に配置することにより、きめ細かな家庭教育支援を行い、家庭教育力の向上を図ることを目的とする。						
内容	<p>亀川小学校、河浦小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域の実情に応じて、家庭教育支援に関する業務を行う。</p> <p>○情報紙の発行・配付 ○相談体制づくりや対応(学校及び家庭) ○家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等の学習機会の提供 ※「親の学びプログラム」とは、子育てのポイントを身近な話題から楽しく学んでもらうために開発された参加体験型(参加者同士の話し合いや振り返り)の学習スタイルである。</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	1,112 (県支出金 700) (一般 412)	学習講座(家庭教育支援分)受講者数	人	目標値			
				実績値	611		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 きめ細かな家庭教育支援を行い、家庭教育力の向上を図ることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会の変化に伴い、家庭教育力・地域教育力の低下が懸念されるため、学習機会の提供等の支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 当初計画どおり2名の家庭教育支援員を配置し、配置小学校等からも高評価を得た。</p> <p>○今後の課題 現在、国・県の補助対象事業として実施しているが、事業を拡充するのであれば、市の単独経費が増加していくことになる。 学校教育課で実施している「心の教室相談事業」、「教育相談事業」と連携できないか検討する。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	12				
事業名	家庭教育学習支援事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	① 家庭を基盤とし、子どもたちの基本的な生活習慣や態度を養い、それぞれの個性と能力を十分発揮し、互いを認め合い、心豊かに生きる子どもの育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>子育てやしつけ又は思春期の子どもが抱える悩みや問題等を通じて家庭教育のあり方を見直す機会を提供し、家庭における教育力の再生を図ることを目的とする。保護者に家庭教育の重要性を再認識する機会としてもらうことができ、保護者にとって最も身近な学校で開催することにより、市全体を対象とするよりも参加しやすく、より多くの参加が見込める。</p> <p>また、各小中学校(保護者会)の負担が少なくなることにより、各校での計画を促進する効果がある。</p>						
内容	<p>各小中学校に就学時健診やPTA行事等の際、家庭教育に関する講座を開催してもらい、講師謝礼や旅費等の経費は市が支出する。</p> <p>○実施回数 43回(小学校29回、中学校7回、幼稚園3回、保育所(園)3回、公民館1回) ○延べ参加者数 2,167人</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	49 (一般49)	参加者数	人	目標値			
				実績値	2,167		
			目標値		4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 子育てにおける家庭教育の重要性を再認識する機会を設け、家庭教育力の向上を図ることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会の変化に伴い、家庭教育力・地域教育力の低下が懸念されるため、学習機会の提供等の支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 学習テーマは基本的な生活習慣、食育、健康教育など多岐にわたり、「親の学びプログラム」も取り入れた学習会も実施できた。</p> <p>○今後の課題 だれでも参加できるような魅力ある学習会を提供する必要がある。「親の学びプログラム」を普及させるのもその一つの例である。 実施団体に外部講師(著名な講師)の紹介を行う等、バリエーションのある講演会を提案する。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	13				
事業名	学校教育研究委員会			担当課係名	学校教育課 指導係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	教職員で構成する学校教育研究委員会の教科、教材の研究等成果を天草市内小・中学校に普及し、学習指導の充実振興を図る。						
内容	<p>「教育課程に関すること」、「いじめ不登校問題に関すること」、「小中一貫教育に関すること」の3つの課題に対して、それぞれ専門部を置き、調査・研究を進める。</p> <p><教育課程部会> 市内の幼稚園、小学校、中学校の園児や児童生徒の確かな学力や豊かな人間性を培うために、調査・研究を進め、市内の幼稚園・小・中学校に研究成果を提供する。本年度は、中学校の国語、社会、理科、英語の習得を目指す基礎・基本問題集を作成。</p> <p><いじめ不登校問題部会> 市内の小・中学校児童生徒の「いじめ問題」の解決を図るために、実践的に調査・研究を進め、その研究成果を市内全小中学校に提供する。その際、本部会において、いじめ・不登校対策会議を開き、PTA代表、適応指導教室指導員、教育指導アドバイザー、心の教室相談員から、いじめや不登校をなくすための意見や提言をいただいている。</p> <p><小中一貫教育研究部会> 小中一貫教育の基礎研究を行うとともに、天草市のめざすべき小中一貫教育の姿を研究する。</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,008 (一般 1,008)	教育課程部会開催回数	回	目標値 18 実績値 18			
			いじめ不登校部会開催回数	回	目標値 4 実績値 4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 生きる基盤である「確かな学力」を育むため、学校教育の充実に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 天草の子供たちが、将来に夢や希望をもち、それを達成するために必要な「確かな学力」身につけさせることは、地域住民や保護者の強い願いである。</p> <p>○達成状況 平成25年度は、市内の中学校教科の基礎・基本を徹底させるための問題集を作成し、これを市内全小・中学校に配付した。小学校へも配布したのは、学びの連続性の観点から、中学校の基礎・基本がわかることが、小学校の学習にも参考になるからである。</p> <p>○今後の課題 児童生徒の学力において、思考力、判断力、表現力等の育成が喫緊の課題であるが、これらは基礎・基本の習得のうえに成り立つものである。「確かな学力」の育成に資するため、今後もPDCAサイクルでの取組の深化が必要である。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	14				
事業名	外国青年教師招致事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	国際化・情報化の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>生きた外国語を市内小・中学生に学習させるため、外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回 方式で配置し、語学指導等を行い、国際交流・異文化交流を推進する。 小学校5・6年生において外国語活動が必修となっており、定期的に小学校への巡回も行い、生き た外国語に触れる良い機会となっている。</p>						
内容	<p>外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回方式で配置し担任教諭とのチーム・ティーチングに より語学指導等を行う。地域においては、社会教育、地域行事へのボランティア参加を促し国際交 流・異文化交流の推進を図っている。</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	50,187 (一般 50,187)	外国語指導助手人数	人	目標値			
				実績値	11		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ○上位施策への貢献 生きる力の基礎となる「確かな学力」の育成に貢献している。 ○市関与の必要性 中学校英語及び小学校の外国語活動において、生きた英語を学ばせる 機会を与えるため、関与する必要がある。 ○達成状況 生きた英語にふれるとともに、国際理解も深めることができた。 ○今後の課題 学校の統廃合により学校数が減少するため、ALTの担当地区の見直 し、一人あたりの授業時数の均一化を図る必要がある。 					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	15					
事業名	学習指導補助教員設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	小学校及び中学校においてチーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行うことにより、児童・生徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図るために、小・中学校の教員免許状または養護教諭の免許状を持つ者を補助教員として配置を行うものである。							
内容	<p>配置基準及び配置人員</p> <p>(1) 小学校1学年、2学年に31人以上の学級で特に配慮を要する学校 ・平成23年度 2校 6人 ・平成24年度 1校 4人 ・平成25年度 1校 4人</p> <p>(2) 発達障害等特に配慮を要する学校 ・平成23年度 22校 32人 ・平成24年度 25校 37人 ・平成25年度 26校 35人</p> <p>(3) 複式学級がある学校 ・平成23年度 2校 3人 ・平成24年度 2校 3人 ・平成25年度 4校 4人</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	102,556 (一般 102,556)	学習指導補助教員の 配置数(年度末時点)	人	目標値	50			
				実績値	43			
			目標値			4	4	3
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 子供たちの学習能力の向上が図られ、地域を担う人づくりに貢献できた。</p> <p>○市関与の必要性 県費では定数配置の関係で不可能であるため、市単独で配置することになるため、関与は高い。</p> <p>○達成状況 予算要求した人員数は、学校の状況を把握し配置することができた。しかし、学校からの要望が多く、必要人員をすべて配置することはできなかった。</p> <p>○今後の課題 配置人員増に向けて、予算要求をする必要がある。</p>					方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	16				
事業名	読書活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校教育において、児童の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにしたり、情報活用能力を向上させたりするなど効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するため、司書教諭及び学校図書館に関する業務補助を専門とする学校司書の拠点配置を行う。これにより、全小・中学校を巡回方式により業務を行い、学校図書館教育の充実を図る。						
内容	<p>図書館業務の専門的知識を有する学校司書を天草市内小・中学校(42校)に、巡回配置の3校に1人の割合で巡回配置する。</p> <p>○平成20年度 16人 ○平成21年度 20人 ○平成22年度 19人 ○平成23年度 20人 ○平成24年度 20人 ○平成25年度 20人</p> <p>※ 市内を20巡回校区に分割し、巡回配置…20人</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	36,665 (一般 36,665)	学校司書配置数	人	目標値			
				実績値	20		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校教育のレベル向上には、効果的な読書活動は大切なものである。</p> <p>○市関与の必要性 図書館担当教員は校務分掌上設けられているが、担任や教科指導等の業務があり、図書室の整備充実まで至らない。</p> <p>○達成状況 図書の整理整頓や子供たちの本への関心が高まり、目的は充分達成されている。</p> <p>○今後の課題 学校統合が進み、学校数が減少しているため、効果的な学校司書配置を検討する必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	17					
事業名	総合的な学習活動支援事業(小)			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	体験から興味関心を高めることにより学習意欲の向上を図ることを目的として、学習指導要領の中にある「総合的な学習の時間」において、横断的・総合的な課題などについて、自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習に係る経費の補助を行なう。							
内容	<p>市内全小学校29校に対し、総合的な学習活動に係る経費を負担する。 補助対象：交通費・保険料・講師謝礼・印刷費・消耗品費等 【経費内訳】 ①報償費 0円 ②旅費 0円 ③需用費 1,175,132円 ④役務費 0円 ⑤使用料 1,092,094円</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	2,268	実施校	校	目標値	29			
				実績値	29			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習を行うことにより、学習意欲の向上に貢献する事業である。 ○市関与の必要性 活動内容の充実を図るため、交通費や講師謝礼などの予算確保が必要となり市関与の必要性は高い。 ○達成状況 各校で自然体験や社会体験など様々な学習活動が実施されており事業目的に寄与している。 ○今後の課題 各校で学習内容が異なるため予算を一律に配分することは困難であるが、事業予算内での柔軟な対応が必要。</p>						方向性	継続

点検評価調書		整理番号	18													
事業名	総合的な学習活動支援事業(中)			担当課係名	学校教育課 教務1係											
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上										
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成												
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	体験から興味関心を高めることにより学習意欲の向上を図ることを目的として、学習指導要領の中にある「総合的な学習の時間」において、横断的・総合的な課題などについて、自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習に係る経費の補助を行なう。															
内容	<p>市内全中学校13校に対し、総合的な学習活動に係る経費を負担する。 補助対象：交通費・保険料・講師謝礼・印刷費・消耗品費等 【経費内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>①報償費</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>②旅費</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>③需用費</td> <td>1,128,305円</td> </tr> <tr> <td>④役務費</td> <td>47,065円</td> </tr> <tr> <td>⑤使用料及び賃借料</td> <td>146,140円</td> </tr> </table>						①報償費	15,000円	②旅費	0円	③需用費	1,128,305円	④役務費	47,065円	⑤使用料及び賃借料	146,140円
①報償費	15,000円															
②旅費	0円															
③需用費	1,128,305円															
④役務費	47,065円															
⑤使用料及び賃借料	146,140円															
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価											
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況								
	1,337	実施校	校	目標値	13											
				実績値	13											
			目標値			4	4	4								
			実績値													
総合評価	<p>○上位施策への貢献 自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査など体験的な学習を行うことにより、学習意欲の向上に貢献する事業である。</p> <p>○市関与の必要性 活動内容の充実を図るため、交通費や講師謝礼などの予算確保が必要となり市関与の必要性は高い。</p> <p>○達成状況 各校で自然体験や社会体験など様々な学習活動が実施されており事業目的に寄与している。</p> <p>○今後の課題 各校で学習内容が異なるため予算を一律に配分することは困難であるが、事業予算内での柔軟な対応が必要。</p>						方向性	継続								

点検評価調書		整理番号	19					
事業名	ふるさと体験事業			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>学習の場を校区から校区外へ広げ、児童が天草の伝統・文化・自然・歴史等とふれあい、理解を深めるなどの体験活動をとおして、ふるさとを多面的に捉え、宝島天草を愛し未来を切り拓く力を育成する。</p> <p>また、体験事業をとおして、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を育むなど、「生きる力」を育成する。</p>							
内容	<p>【対 象】 ・小学校3年生または4年生 (H26年度からは、統合校で実施する校区内の再発見事業では全児童対象)</p> <p>【事業内容】 ・実施日数は1日以内 ・他教科等との関連を明確にし、事前(事後)学習活動を充実させることとする。 ・校区内では体験することができない天草の他地域における体験活動。 ・平成25年度実施校:29校</p> <p>【経費内訳】 ①需用費 7,500円 ②使用料及び賃借料 1,362,520円</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評 価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	1,371	実施校	校	目標値	29			
				実績値	29			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 児童が、様々な体験をとおして天草(地域)を知る重要な機会となっており、貢献度は高い。</p> <p>○市関与の必要性 児童が天草の様々な場所を見学、体験するための移動手段等の予算確保など市関与の必要性は高い。</p> <p>○達成状況 学校で学習した内容を実際にその場所で見学したり体験したりすることで理解が深まるなど、目標に対する達成度は高い。</p> <p>○今後の課題 これまでの実績を踏まえ、今後の事業拡充や取り組み方法を検討する必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	20					
事業名	離島高校生修学費支援事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育レベルの向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>●目的 御所浦地区の中学校を卒業後、学校教育法に定める高等学校等に通学、下宿、学校寮若しくはアパート等を利用している生徒の保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。</p> <p>●対象 御所浦中学校又は御所浦北中学校を卒業した現高校生の保護者</p>							
内容	<p>御所浦地区から高等学校等へ進学する際の、交通費(船賃)及び下宿費等を助成する。</p> <p>●助成額(国費50%・一般財源50%)</p> <p>■通学費補助 御所浦町から天草市内の高校へ通学する際の交通費(船賃定期券代)の1/2を補助 ・補助対象生徒数 33人 ・事業費 2,469,000円</p> <p>■下宿等経費の補助 修学に伴い下宿等を行う場合に一律10,000円(月額)を補助 ・補助対象生徒数 75人 ・事業費 8,870,000円</p> <p>■合計 ・補助対象生徒数 106人 ・事業費 11,339,000円</p> <p>※年度途中で通学費・居住費の区分変更があったため、2名については重複して計上している。</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	11,339 国(5,669) 一般(5,670)	交付件数	項目	目標値	107			
				実績値	106			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 本市における教育の機会均等の観点から、高等学校等が設置されていない御所浦地区の高校生が、安心して勉学に打ち込める環境を整備することができた。</p> <p>○市関与の必要性 離島地区においては教育費負担が重くなっている状況であり、市が関与すべきである。</p> <p>○達成状況 補助対象者について、申請が無かった1名を除き、補助金の交付を行う事ができたため、事業の目的を達成することが出来た。</p> <p>○今後の課題 事業費については、国費50%、一般財源50%である。一般財源分については、公平性・平等性の観点から、他地域の高校生を持つ保護者への対応が課題になってくると思われる。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	21				
事業名	姉妹都市教育交流事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育レベルの向上	施策の内容	国際化・情報化の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>・天草市と本市の姉妹都市である米国・エンシニタス市が相互に隔年毎に学生を派遣・受入れ、異なる文化や外国語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら国際交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身につけ、21世紀の郷土を担う心身ともにたくましい青少年の育成を図ることを目的としている。</p> <p>・活動・成果の指標は、下記項目についての実施の有無とする。 ①ホストファミリーとの交流、②小・中・高校生と交流、③地域住民との交流</p>						
内容	<p>アメリカ合衆国カリフォルニア州エンシニタス市へ生徒6名と引率者1名を派遣した。 ■実施時期 平成25年7月29日(月)～8月7日(水) (10日間) ■事業内容 ①ホームステイ5日間(受入れ家族との交流) ②ロサンゼルス『グリフィス天文台』『ユニバーサルスタジオ』他、市内の名所や施設を訪問した。 また、この姉妹都市交流プログラムを通して、天草を訪れたことのある方や、研修生として天草を訪れた生徒の家族の方、現地の学生と交流を深めることができた。</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	2,115 一般(2,115)	交流項目	項目	目標値			
				実績値	2		
			目標値		4	3	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 異文化体験や国際理解を深めることにより、相互間において大変意義のある事業となり、国際交流の推進を図る事が出来た。</p> <p>○市関与の必要性 市民と行政が一体となった交流活動を推進する必要がある。</p> <p>○達成状況 各施設や学校を訪問することにより、交流生や市民にとって、刺激的・効果的な機会が生まれ、目的を十分に達成することができた。</p> <p>○今後の課題 更に受入・派遣体制の整備を行い、市民との協働で取り組みを強化していく計画であるが、姉妹都市交流事業における位置づけ、及び学生の選出方法等について課題があり、今後検討が必要である。</p>					方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	22					
事業名	学校訪問指導の充実			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市教育委員会の教育目標及び基本方針に基づき、学校教育の大きな課題である社会の変化 に対応できる人材の育成及び児童・生徒の個性の伸長を図り、あわせて本市教育水準の向上に資 するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、全日総合 訪問、経営訪問、事務局訪問を行う。							
内容	[総合訪問]・・・小学校14校、中学校 5校 合計19校 (幼稚園 1園) [経営訪問]・・・小学校15校、中学校 7校 合計22校 (幼稚園 3園) [事務局訪問]・小学校 0校、中学校 1校 合計 1校							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施校数	校	目標値	42			
				実績値	42			
	実施園数	園	目標値	4	4	4	4	
			実績値	4				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育むには、学校教育の充実が中核となる。</p> <p>○市関与の必要性 市町村立の学校教育の充実は、本市の責務である。</p> <p>○達成状況 学校訪問の形態は異なるが、全小・中学校及び4幼稚園を訪問し、それぞれの学校(園) において、課題解決に向けた確かな実践を確認することができた。特に、授業参観や分科 会指導では、学習態度の定着や確かな学力が育成されている様子を、児童生徒の生き生 きとした姿を通して、把握することができた。また、本年度はねらいとまとめの時間の確 保、評価、言語活動との4つの整合性などについて、重点的な指導ができた。</p> <p>○今後の課題 今後とも分科会や全体会をさらに充実させ、訪問校の全校的な取組の充実や教師の授 業力向上を目指して、積極的に取り組んでいく必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	23					
事業名	市指定教育研究推進校補助金			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子ども たちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷 土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身とも に健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	学校教育の充実、教育向上に資するため、研究校を指定し天草市独自の事業を実施する。							
内容	<p>研究推進校を指定し独自の事業を実施 市指定校 5校(小学校2校、中学校3校)</p> <p>・学力充実研究推進校 : 本渡北小、本渡南小、本渡中、本渡東中 ・健康教育(食育)研究推進校 : 河浦中</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	636 (一般 636)	指定校数	校	目標値	5			
				実績値	5			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位施策への貢献 児童生徒の生きる力の基盤となる「確かな学力」の育成に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 市全体の教育の質を維持向上のためには、積極的に研究に取り組み、研究の成果を市内の各学校に広げる必要があり、市が関与しなければならないと考える。</p> <p>○達成状況 児童・生徒の「確かな学力」の育成と教職員の教育指導力の向上は、本市にとって最重要課題である。指定希望も、例年多くの学校から上がっており、指定校の校内研修充実に加えて、天草市の教職員に対しても公開授業を実施し、各学校の教育的な課題の解決に役立っている。</p> <p>○今後の課題 今後さらに研究の成果を広げ、PDCAサイクルで検証しながら、各種会議、研修会、学校訪問指導等を中心として、天草市内のすべての学校に定着させていく必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	24					
事業名	地産地消の推進			担当課係名	学校給食課			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上			
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	安心・安全でおいしい給食の提供に努めるとともに地産地消を推進する。							
内容	天草産・熊本県産の旬の野菜等生産物の購入により、感謝の心を育てたり、地域資源でもある農水産物に興味をもたせ、生産者等の顔の見える給食づくりを目指す。							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への貢献	市関与の 必要性	達成状況
		熊本県産農林水産物 (品目の割合) 熊本県産 天草産	%	目標値	55.00			
				実績値	57.03 27.23			
	天草産農林水産物 (金額の割合)	%	目標値	15.00	4	4	4	
			実績値	15.54				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 地元農林水産物の消費拡大に寄与している。</p> <p>○市関与への必要性 地元農林水産物を使用した食育を通し、地元産への関心を高めることで郷土への思いを持たせると同時に農林水産物の生産性を高めるために関与の必要がある。</p> <p>○達成状況 栄養教諭や学校栄養職員と小売業者、生産者との連携を深めることにより目標を達成することができた。</p> <p>○今後の課題 天草産の活用については、数量・価格などの課題が大きく、更なる地元JA、生産者との連携が必要となる。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	25				
事業名	学校給食施設整備事業			担当課係名	学校給食課		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容 学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	天草市学校給食基本計画に基づき、児童生徒数の減少及び倉岳学校給食センターの老朽化及び衛生管理基準への適合化等の課題に対応するため、栖本学校給食センターを改修して倉岳学校給食センターを統合し、学校給食業務の効率化と衛生環境の向上を図る。						
内容	<p>栖本学校給食センターと倉岳学校給食センターを統合するため、統合による配食数増加への対応のための内部の改修及び増築工事</p> <p>整備事業期間 平成25年度～平成27年度 総事業費(設計監理委託含む) 114,004千円 平成25年度 2,258千円 平成26年度 38,019千円 平成27年度(債務負担行為) 73,727千円</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	2,258	対象事業数	事業	目標値			
				実績値	1		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 天草市学校給食基本計画に基き、学校給食業務の効率化を進めている。</p> <p>○市関与への必要性 施設の老朽化、及び衛生基準への適合化等の課題に対応するためには積極的かつ早急な関与の必要性がある。</p> <p>○達成状況 25年度に計画していた設計業務委託を終了し、目標を達成することができた。</p> <p>○今後の課題 天草市学校給食基本計画に基づき、老朽化が進んでいる他の給食センターについても順次計画を進める必要がある。</p>				方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	26																																	
事業名	小・中学校統合推進事業			担当課係名	教育総務課 施設係																															
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上																														
教育目標 基本方針	教育目標	・夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり ・自然や伝統・文化を大切にし、郷土「日本の宝島天草」を愛する人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成																																
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、複式学級の解消と学校規模の適正化により、活力ある児童・生徒の育成を目指す。</p> <p>○小学校 小学校42校(分校を含む)を17校にする。 ○中学校 中学校15校を13校にする。</p> <p>○学校数の年度別推移 単位:校</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>						年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	小学校	42	41	35	29	22	22	21	21	17	中学校	15	15	13	13	13	13	13	13	13
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30																											
小学校	42	41	35	29	22	22	21	21	17																											
中学校	15	15	13	13	13	13	13	13	13																											
内容	<p>1統合の組合せごとの統合推進協議会等を設置し、統合に向けての協議を行った。</p> <p>(1)統合推進協議会 ・設置数 5協議会 ・開催回数 10回 ・主な協議の内容 建設計画、統合に係る諸課題</p> <p>(2)統合準備委員会 ・設置数 3委員会 ・開催回数 12回 ・主な協議の内容 校歌、校章及び標準服・体育服等、スクールバス(ボート)運行計画等</p> <p>2平成25年度統合により廃校となった学校 【牛深地区】牛深小学校、二浦小学校、魚貫小学校、天附小学校 【御所浦地区】御所浦小学校、御所浦北小学校 【五和地区】御領鬼池小学校、城河原小学校、手野小学校、二江小学校</p> <p>3総事業費 【小学校統合推進事業】17,298千円(補助金4,500千円、使用料及び賃借料4,298千円、委託料2,794千円、備品購入費2,438千円、役務費2,412千円、その他事務費856千円) 【中学校統合推進事業】21,670千円(備品購入費15,535千円、需用費2,708千円、委託料2,509千円、その他事務費918千円)</p>																																			
全体計画、概要 (平成25年度) 実績、活動状況 補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価																															
	平成25度(千円)	指標名	単位	平成25年度末 最終年度目標値		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																												
	38,968 (一般 38,968)	小学校数	校	目標値	22																															
			校	実績値	22																															
	中学校数	校	目標値	17																																
		校	実績値	13																																
		校	目標値	13																																
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校を統合することにより、適正な学校規模となり、子どもたちがより良い教育環境の中で効果的な教育が受けられるようになった。</p> <p>○市関与の必要性 学校の設置及びより良い教育環境の整備は市の責務である。</p> <p>○達成状況 学校規模適正化(学校統廃合)推進計画どおり達成できた。</p> <p>○今後の課題 廃校跡地の利活用が課題である。</p>						方向性	継続																												

点検評価調書		整理番号	27				
事業名	成人式			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	② 生きる力の基盤となる「確かな学力」を育み、子どもたちの創造性を培い、自主及び自律の精神を養い、郷土「日本の宝島天草」を愛し国際社会に生きる心身ともに健康な日本人の育成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ますため「成人式」を実施する。明るい選挙を推進し、交通安全についても再考する機会となるよう式典に取り込む。久しぶりに再会する友人や恩師と旧交を温める良い機会にもなっている。						
内容	<p>式典を開催し終了後記念撮影をして、天草市からの記念品として贈呈している。</p> <p>○10地区で開催 8月16日 牛深 1月3日 本渡、有明、倉岳、栖本、天草、河浦 1月4日 御所浦、新和、五和</p> <p>○対象者数 1,061人 参加者数 902人(参加率 85.0%)</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	1,149 (一般 1,149)	参加率	%	目標値			
				実績値	85.0		
	参加者数	人	目標値	900	4	4	4
			実績値	902			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 郷土を愛する青少年の育成に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 国民の祝日に関する法律の趣旨「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほげます」によるもの。</p> <p>○達成状況 各地域の参加率は、概ね80%~90%あり、地域で特色ある成人式ができた。</p> <p>○今後の課題 成人者が減少してきていることから、市で一本化又は近隣旧市町合同での開催を検討する時期に来ている。 なお、変更する場合は、早めの決定と十分な周知が必要である。</p>					方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	28				
事業名	公民館改修事業(緊急経済対策)			担当課係名	生涯学習課 公民館係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容 生涯学習施設等の整備		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	生涯学習の拠点として多様化する学習ニーズに対応するため、老朽化した公民館の施設整備を実施し、利便性を高め利活用の促進を図る。						
内容	<p>○本渡地区公民館(天草市勤労青少年ホームと併設)は築後40年が経過し、老朽化が進んでおり利用者の安全を確保するために耐震診断を実施。 ・本渡地区公民館耐震診断業務委託(繰越) 委託料2,656,500円</p> <p>○結果 ・全階、所定の構造耐震判定指標を満たしている。 ・屋根(鉄骨)については、施工不良箇所があり、全面改修が必要との指摘を受ける。ただし、すぐに屋根が落下する危険性はなく、ひび割れ等が徐々に進行していくため、その状況を見ながら使用中に中止するなど判断することも可能との意見。</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	2,657	耐震診断	箇所	目標値			
	(国庫補助金 736) (一般財源 1,921)			実績値	1		
			目標値		4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 施設を良好な状態に保つことで公民館活動の推進に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 市民が安全・快適に公民館を利用できるように、市の責任において施設を維持管理する必要がある。</p> <p>○達成状況 単年度分については事業完了。</p> <p>○今後の課題 老朽化も進んでいるため、現在、進められている重要公共施設再配置基本方針と併せて計画的な維持管理が必要である。屋根(鉄骨)部分の施工不良箇所については、毎年定期的な点検を行い、状況を把握しながら利用者の安全性を確保していく必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	29				
事業名	コミュニティーセンター整備事業(含む緊急対策)			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習施設等の整備	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市民の憩いの場である社会教育施設(町民センター、ふれあいセンター、交流センター)を整備し、 地域交流、地域の健康福祉の向上及び生涯学習の振興を図る。						
内容	<p>社会教育施設(町民センター、ふれあいセンター、交流センター)の整備。</p> <p>○コミュニティーセンター整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震改修等設計業務委託料(繰越) 1,659千円 天草町民センター耐震改修その他設計業務委託 測量設計等委託料 263千円 御所浦島開発総合センター高圧受電設備外改修設計業務委託 工事請負費 3,906千円 御所浦島総合開発センター高圧受電設備改修工事 横浦島コミュニティーセンター空調設備改修工事 						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	5,828 (国庫補助金 445) (一般 5,383)	大規模改修施設数(耐震改 修業務委託含む)	施設数	目標値			
				実績値	3		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 施設を良好な状態に保つことで生涯学習活動の推進に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 市民が安全・快適に社会教育施設を利用できるように、市の責任において施設を維持管理する必要がある。</p> <p>○達成状況 単年度分については事業完了。</p> <p>○今後の課題 社会教育施設全体の老朽化が進んでいるため、「施設の整理・統廃合基本計画」と併せて計画的な維持管理が必要である。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	30					
事業名	移動図書館事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大の取り組みとして、移動図書館車で地域をまわり、読書振興につなげる。 また、子ども読書推進計画を進めるために、小学校・幼稚園・児童館等へ図書を貸し出し、学校図書館に所蔵していない図書との出会いの場を提供する。</p>							
内容	<p>○移動図書館車3台で天草全域に実施している。 ①中央図書館から本渡・新和・有明・栖本・倉岳地区へ42力所実施(平成25年度購入) ②河浦図書館から河浦・牛深・天草地区へ46力所実施(平成22年度経済対策で購入) ③御所浦図書館から横浦島を含む御所浦全地域28力所実施(平成23年度天草町から移管) ④五和図書室から五和地区9力所実施(中央図書館車を利用)</p> <p>○合計訪問力所数125力所 利用冊数83,969冊 利用者数10,273人</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	指標:成果、活動の対象となるもの			評価				
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	2,381 (一般)	利用冊数 (対前年実績値比)	冊	目標値	78,165			
				実績値	83,969			
	利用者数 (対前年実績値比)	人	目標値	10,024		4	4	4
			実績値	10,273				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 図書館から遠距離にある地域に居住する市民へも読書の機会を提供することで、生涯学習の推進に寄与している。 ○市関与の必要性 生涯学習推進の基盤である読書活動が積極的に行われるように支援する必要がある。 ○達成状況 移動図書館車で地域や学校等の各ステーションをまわり、目標とする図書の貸出数を上回ることができた。 ○今後の課題 図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大のため、生涯学習機会の提供として、読書に親しむ機会を設ける移動図書館事業を推進していく必要がある。</p>					方向性	拡充	

点検評価調書		整理番号	31				
事業名	移動図書館車購入事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	図書館から離れた地域の図書館サービスの充実を図るために、移動図書館車を購入をする(地域の元気臨時交付金活用)。						
内容	<p>老朽化した旧車両に替わり、ハイブリッド車を導入することで、環境に配慮した運行と車両を大型化したことで積載冊数が増加(600冊)し、利用者の図書サービスの充実が図れた。車両製作段階で、デザインや愛称募集を市民に対して行うことで図書館業務のPRにも貢献できた。</p> <p>○移動図書館車購入費(繰越) 12,586千円 ○移動図書購入費(繰越) 914千円</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	13,500 (国庫補助金 12,586) (一般 914)	移動図書館車購入台数	台	目標値			
				実績値	1		
			目標値		4	4	4
			実績値				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 図書館から遠距離にある地域に居住する市民へも読書の機会を提供することで、生涯学習の推進に寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 生涯学習推進の基盤である読書活動が積極的に行われるように支援する必要がある。</p> <p>○達成状況 完了。図書館から離れた地域の図書館サービスの充実を図るために、移動図書館車を購入することができた。</p> <p>○今後の課題 図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大のため、生涯学習機会の提供として、読書に親しむ機会を設ける移動図書館事業を推進していく必要がある。</p>					方向性	終了

点検評価調書		整理番号	32				
事業名	童話発表会			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、 文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学 習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習 社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	子どもたちに童話や昔話に興味を抱かせ親しませることで、読書意欲の向上を図り、感性豊かな人間性を育成するために童話発表会を実施する。						
内容	○発表内容は、童話(日本、外国、創作など)、民話など児童の読み物が対象。 ○発表時間は、1～2年生 1人 5分、3～6年生 1人 7分。 ○児童42名が出場し、うち第52回童話発表天草地方大会に12名が出場した。						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	95 (一般)	童話発表大会出場者数	人	目標値 45 実績値 42			
		童話発表大会来場者数	人	目標値 300 実績値 300	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 童話に親しみ、創造する機会を与えることにより読書意欲の推進を図り、「生きる力」の基礎を育むことに寄与した。</p> <p>○市関与の必要性 子どもの発達段階に応じて、読書活動が積極的に行われるように支援する必要がある。</p> <p>○達成状況 天草地方大会では天草市の2名が最優秀賞を受賞し、熊本県童話発表大会(11ブロックから23人出場)へ天草地区代表として出場した。</p> <p>○今後の課題 テレビやインターネット等の普及により子ども達の活字離れが進んでいるため、今後も家庭、地域、学校及び行政が連携して、読書活動を推進していく必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	33				
事業名	生涯学習推進事業			担当課係名	生涯学習課 公民館係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	市民自らが主体的に学習する意欲を高め、豊かで充実した生活を送れるよう、市民を対象に学習面に特化した事業を行い、各地域における教育の機会均等と内容の平準化を図る。						
内容	<p>平成25年度から56館の公民館が旧市町ごとに1つの公民館に再編されたことに伴い、本渡地区は旧中央公民館に、その他の地区は各支所に館長と公民館担当を配置し、地域の教育に関する業務を行う。</p> <p>内容としては、旧市町エリアで計画し、全体講座(人権・家庭教育等)や各地区のコミュニティセンターへの出前講座(交通安全・消費生活等)を開催する。</p> <p>○全体講座 32回 1,835人 ○出前講座 224回 6,922人</p>						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	1,473 (一般 1,473)	主催講座数	講座	目標値			
				実績値	256		
	参加者数	人	目標値	10,000	4	4	3
			実績値	8,757			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学習の場の提供は主体的な生涯学習活動への動機付けとなっている。</p> <p>○市関与の必要性 講座等の開催は市民の生涯を通じた学習につながるものであり、生涯学習社会の構築のために市で取り組んでいくべきである。</p> <p>○達成状況 公民館活動は、再編後1年が過ぎ、学習に特化したことと併せ、地域の特色を活かした講座の開催により着実に効果がでてきている。</p> <p>○今後の課題 講座等の開設の仕方や形態については、多様な事業の工夫が必要であるが、地区振興会等の諸団体・諸機関との連絡、調整をはかり、共同事業を企画するなど新たな事業の展開が必要である。また、高齢者を対象とした講座等が主体となっているため、各年代を対象とした講座等を実施し、より多くの参加者が得られるように努める。</p>					方向性	継続

点検評価調書		整理番号	34				
事業名	勤労青少年ホーム教養講座			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	③ 市民一人一人が生涯を通じていつでも自由に学び、文化・スポーツに親しむことを通じて生きがいを持ち、学習や活動の成果を社会に生かすことができる生涯学習社会の形成			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>勤労青少年ホームは、勤労青少年に対して、各種の相談に応じ、及び必要な指導を行ない、並びにレクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行なわれる活動のための便宜を供与する等勤労青少年の福祉に関する事業を総合的に行なうことを目的とする施設である(勤労青少年福祉法第15条第2項)。</p> <p>これまでの勤労青少年の福祉的余暇活動の場としての「居場所」から、現代社会における若者のストレス発散悩み相談窓口、さらには職業的スキルアップを支援する場所へと展開していかなければならない状況にある。</p>						
内容	<p>○天草市勤労青少年ホーム 教養講座の開設 ①エアロビクス講座 ②ヨガ講座(①・②の講座は平成26年度から自主講座に移行) ③着物着付け講座 ④料理講座 ⑤お菓子講座 ⑥天草民俗学講座 ⑦コーラス講座 ⑧フラワーアレンジメント ⑨若者スキルアップ講座 ⑩パッチワーククラフト講座 ⑪茶道講座 ⑫卓球講座 ⑬フォークダンス講座 ⑭編み物講座 ・受講生延べ922人</p> <p>○自主活動 清掃ボランティア、天草市主催のトライアスロン大会・マラソン大会等にスタッフとしてのイベント協力、ミニバレーボール大会、40周年記念ホーム祭等を行った。</p>						
全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	610 (一般 610)	開設講座数	講座	目標値			
				実績値	14		
	受講生数	人	目標値	1,000	4	4	3
			実績値	922			
総合評価	<p>○上位施策への貢献 勤労青少年の育成や交流の場として寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 勤労青少年福祉法により地方公共団体は、「勤労青少年ホームを設置するように努めなければならない」とあるため。</p> <p>○達成状況 勤労青少年のレクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行われる活動のための便宜を供与するというホームの目的を果たした。</p> <p>○今後の課題 青少年世代の市内からの流出や価値観の変化もあり、青少年ホームの在り方自体を検討する必要がある。一方で、「子ども・若者育成支援推進法」により、若者を支援するためのネットワーク整備づくりも一考する必要がある。</p>					方向性	見直して継続

点検評価調書		整理番号	35					
事業名	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれ た信頼される学校づくりを進める。							
内容	本町小学校及び五和小・中学校に学校運営協議会を設置し、各支援コミュニティの組織づくりと効果 的な運用、コミュニティ・スクールへの理解を高めるための啓発活動に取り組む。							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価				
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施 策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
	382 (一般 382)	設置校数	校	目標値	2			
				実績値	2			
			目標値			4	4	4
			実績値					
総合評価	<p>○上位政策への貢献 学校、家庭、地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる 教育行政の推進に貢献している。</p> <p>○市関与の必要性 地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進に貢献している。</p> <p>○達成状況 平成25年度は、本町小学校、二江小学校の2校において実施し、地域の 教育力を生かした特色ある教育活動が行われた。</p> <p>○今後の課題 昨年度までの取組の成果を、本年度から新たに実施される五和小中学校を はじめ、市内の他の学校にも広げていく。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	36					
事業名	学校の自己評価			担当課係名	学校教育課 指導係			
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	学校教育の質的向上		
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進				
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>学校が、その教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図ること、及び評価結果等を広く保護者等に公表していくことにより、児童生徒がより良い教育活動等を楽しめるよう学校運営の改善と発展を目指す取組を指導し、援助を行う。</p>							
内容	<p>・学校の自己評価等について市教委への報告様式を原則統一 ①学校経営目標等 ②具体的計画 ③今年度の達成基準 ④自己評価(中間) ⑤自己評価(最終) ⑥分析・改善方策 ⑦学校関係者評価 評価は3段階(A:目標を十分達成した B:おおむね目標どおり C:目標達成が不十分)</p> <p>・学校評価に関する情報提供</p> <p>・学校の事務負担を増加させずに、効果的な学校評価が実施できるよう、評価手法等の調査や優れた取組の普及</p>							
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		実施校数	校	目標値	42			
				実績値	42			
	実施園数	園	目標値	4	4	4	4	
			実績値	4				
総合評価	<p>○上位施策への貢献 児童生徒の生きる力の基盤となる「豊かな心」「確かな学力」を育むために、学校教育の充実が中核となる。</p> <p>○市関与の必要性 市町村立の学校教育の充実が本市の責務である。また、学校教育に対する保護者や地域の期待は高い。</p> <p>○達成状況 各学校において、学校評価の意義や役割、教育にもたらす効果等について、共通理解が図られ、改善を図る手立てがとられている。特に、自己評価等について市教委への報告様式を統一したことで、市教委としてより客観的に取組みの様子について把握することができた。</p> <p>○今後の課題 学校関係者評価の公表や設置者への報告など、在り方について検討する必要がある。</p>					方向性	継続	

点検評価調書		整理番号	37				
事業名	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	生涯学習・スポーツの推進	施策の内容	生涯学習の推進	
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進			
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、本市においては、青少年の非行防止という観点から、青少年の健全育成の活動に関することとして捉え、実施している。</p> <p>社会を明るくする運動と併せて、天草市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的に推進大会を開催する。</p>						
内容	<p>○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。</p> <p>○社会を明るくする運動推進委員会の開催</p> <p>○高校生や一般市民からの標語及び小中学校児童生徒の作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表</p> <p>○社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会の開催</p> <p>○主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芥明高等学校生徒による司会進行 ・オープニング 本渡中学校吹奏楽団によるアンサンブル演奏 ・事例発表 佐伊津小学校、城河原地域づくり振興会 ・記念講演 渡部陽一さん「家族の絆～世界100ヶ国以上の家族と過ごした時間～」 						
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	社会を明るくする運動 158 (一般 158)	社会を明るくする運動 標語・作文応募数	件	目標値 1,000 実績値 1,138			
	教育力活性化推進大会 944 (一般 944)	社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会への参加者数	人	目標値 700 実績値 630	4	4	4
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校・家庭・地域社会で連携し、教育力推進の意識高揚を図ることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会を明るくする運動は法務省主唱の全国的な運動であり、市としても青少年健全育成のために関与する必要がある。また、教育力活性化推進大会についても、教育力推進のために関与する必要がある。</p> <p>○達成状況 社会を明るくする運動については作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、推進大会の開催により、天草市の教育の現状について理解を深め、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、すべての分野の教育力の活性化を推進することができた。</p> <p>○今後の課題 市民のニーズや社会状況に合わせた講師や事例発表の内容等を検討していく必要がある。</p>					方向性	継続

点検評価調書	整理番号	38
--------	------	----

事業名	放課後子ども教室			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係																						
第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	地域を担う人づくり	施策	学校教育のレベル向上	施策の内容	開かれた学校づくりの推進																					
教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら 学び、心豊かに生きる 人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、 連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教 育行政の推進																							
目的 ・事業の目的 ・補助の目的	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を 設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続 的に提供する取組を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとと もに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを 推進することを目的とする。																										
内容	地域のコーディネーターが中心となって住民と学校が連携して、放課後等の子どもたちの 居場所を確保するとともに遊びや学習機会を提供する。																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日数</th> <th>登録者数</th> <th>延べ参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・本渡東小学校</td> <td>55日</td> <td>19人</td> <td>942人</td> </tr> <tr> <td>・島子小学校</td> <td>195日</td> <td>17人</td> <td>1,029人</td> </tr> <tr> <td>・御領鬼池小学校</td> <td>24日</td> <td>24人</td> <td>508人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>274日</td> <td>60人</td> <td>2,479人</td> </tr> </tbody> </table>				実施日数	登録者数	延べ参加者数	・本渡東小学校	55日	19人	942人	・島子小学校	195日	17人	1,029人	・御領鬼池小学校	24日	24人	508人	合計	274日	60人	2,479人				
	実施日数	登録者数	延べ参加者数																								
・本渡東小学校	55日	19人	942人																								
・島子小学校	195日	17人	1,029人																								
・御領鬼池小学校	24日	24人	508人																								
合計	274日	60人	2,479人																								
・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の 活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価																						
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																				
	841	実施校数	校	<table border="1"> <tr><td>目標値</td><td>4</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3</td></tr> </table>				目標値	4	実績値	3																
	目標値	4																									
実績値	3																										
(県支出金 485) (一般 356)	参加者数	人	<table border="1"> <tr><td>目標値</td><td>3,288</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>2,479</td></tr> </table>	目標値	3,288	実績値	2,479	4	4	3																	
目標値	3,288																										
実績値	2,479																										
総合評価	<p>○上位施策への貢献 学校・家庭・地域社会で連携を図り、子どもの居場所をつくることができた。</p> <p>○市関与の必要性 社会の変化に伴い、家庭教育力・地域教育力の低下が懸念されるため、学習機会の提 供等の支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 コーディネーターの申し出により、昨年度から1校減少した。年度途中から新規で1校開設 する予定であったが、開設準備等を考え平成25年度開設を見送られた。</p> <p>○今後の課題 コーディネーター等地域の協力が不可欠であり、コーディネーターの人材育成が難しいた めに、事業の拡大は困難な状況である。</p>					方向性	継続																				

点検評価調書	整理番号	39
--------	------	----

事業名	青少年健全育成事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係	
-----	-----------	--	--	-------	---------------	--

第1次総合計画 施策体系区分	施策の柱	快適な生活環境づくり	施策	人と人が支え合うまちづくり	施策の内容	青少年の健全育成
-------------------	------	------------	----	---------------	-------	----------

教育目標 基本方針	教育目標	夢や希望を持ち、自ら学び、心豊かに生きる人づくり	基本方針	④ 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、連携を図ることができる、地域社会の特性を踏まえた教育行政の推進		
--------------	------	--------------------------	------	--	--	--

目的 ・事業の目的 ・補助の目的	<p>青少年同士の交流を促し、自然とのふれあいなどの豊かな体験の場を創出すると共に、ボランティア等の社会参加型活動への参加を支援する。</p> <p>地域の伝統的産業を体験して歴史を学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見し、郷土を愛する心を醸成できる。また、地元の青年団やお年寄りとの異世代交流を行うことにより社会性や自立性が身につく等の大きな成果がある。</p>					
------------------------	--	--	--	--	--	--

内容	○青少年の交流や自然体験事業を実施					
	事業名		内容		参加者数	
	寺子屋体験学習(栖本地区)		昔の寺子屋を再現し、地区のお年寄りに竹細工、地域の歴史や民話、礼儀作法等を学ぶ。		21	
	とんとこ漁体験(御所浦地域)		島の特性を活かした伝統の漁法等を通じた中学生の体験学習事業を実施し、自然の恵みに感謝する。		24	
化石セミナー(御所浦地域)		御所浦白亜紀資料館展示物や野外見学地(ジオサイト)に訪れて現地学習することで、化石について学び地域への愛着を深める。		58		
○青少年育成補助事業						
青少年の各種体験事業、青少年の他地域との交流事業等に対する補助(20万円以上の事業に対し1/2補助、限度額20万円)						
事業名		主催		参加者数		
御所浦町・産山村海山交流活動		御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会		87		
本町小学校・矢並小学校の交流体験活動		本町小学校PTA		47		
竜洞山キャンプ世代間交流事業		(社)天草本渡青年会議所		27		
伝馬船槽漕ぎ教室		御所浦アイランドツーリズム推進協議会		20		

・全体計画、概要 (平成25年度) ・実績、活動状況 ・補助対象団体の活動状況等	決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
	平成25年度(千円)	指標名	単位	平成25年度	上位の施策(目標)への貢献	市関与の必要性	達成状況
	1,029 (一般 1,029)	青少年健全育成補助金申請団体	団体	目標値 4 実績値 4			
		参加者数	人	目標値 210 実績値 284	4	4	4

総合評価	<p>○上位施策への貢献 青少年の健全育成に大きく寄与している。</p> <p>○市関与の必要性 青少年の健やかな成長を支えることは社会全体の責任であり、行政、家庭、地域、学校等が相互に協力・補完しながら取り組む必要がある。</p> <p>青少年健全育成のために、人的・財政的支援を行っていく必要がある。</p> <p>○達成状況 地域の特性を活かした事業を取り込んで、青少年の交流や自然とのふれあいなど豊かな体験事業が実施された。</p> <p>○今後の課題 実施団体が固定化しているので、事業の周知を図る必要がある。</p>					方向性	拡充
------	--	--	--	--	--	-----	----